

2001年度
講義計画

桃山学院大学



英語 I（ライティング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
11	Daniel M. Walsh	経済	Hagen, Stacy	<i>Tourneys Writing Book 1</i> ISBN 0-13-181546-6	Prentice Hall ELT
12	Louise Pender	経済	Stacy Hagen	<i>Journeys Writing I</i>	Prentice Hall
13	本山道子	経済	根間弘海 Braven Smillie	<i>Enjoy Expressing Yourself</i>	金星堂
14	横山三鶴	経済	木塚晴夫 Roger Northridge	<i>Common Errors in English Writing</i>	Macmillan Language House
31	近藤摂子	社会	小池直己	<i>TOEIC TEST</i> 基本文法+会話・リスニング問題	北星堂書店
32	Kathryn L. マルヤマ	社会	Starfire, Vicki	<i>Writing in Action</i>	Macmillan Language House
51	Carlquist L. Harris	社会福祉		なし	
61	Terence J. O'Brien	経営			
62	木村博是	経営	O'Brien, Terry	<i>A Trip to Britain</i>	南雲堂
63	都築郷実	経営	鳥飼慎一郎	基本語彙を使った発展英作文	朝日出版社
91	大橋 襄	国際文化	小中秀彦	<i>Learn by Comparing Basic English Expressions</i>	朝日出版社
92	大橋 襄	国際文化	小中秀彦	<i>Learn by Comparing Basic English Expressions</i>	朝日出版社

英語Ⅰ（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
01	太 原 康 雄	〈スポーツ推薦クラス〉	Timothy Kiggell	<i>American Kaleidoscope</i>	Macmillan Language House
11	後 藤 正 次	経 済		プリント	
12	佐 治 多嘉子	経 済	D. Fuller H. Hinder 松居 司	<i>Essential Listening (2)</i> <i>Numbers in English Book I</i>	Macmillan Language House 南 雲 堂
13	玉 巻 欣 子	経 済	Francis J. Kirdyla 広本勝也	ブラウン氏の日本体験	朝日出版社
14	釣 井 千 恵	経 済	Steven Gershon Chris Mares 石井隆之・山 修	<i>Sound Bytes 2 : Listening for Today's World</i> TOEIC テスト 基礎演習	Longman Macmillan Language House
31	Raoul Cervantes	社 会	Jack Richards	<i>New Interchange 1 Student Book</i>	Cambridge University Press
32	中 井 紀 明	社 会	Hideaki Motegi Stephen Hesse Denji Suzuki	<i>Debating the Issues</i>	Macmillan Language House
33	中 島 剛	社 会	仲 慶次 Adrian Clarke	<i>Hollywood Stars</i> ハリウッドスター・記者会見でリスニング	松 柏 社
51	川 上 与志夫	社会福祉	John S. Lander	<i>Half and Half Listening and Speaking Activities</i>	朝日出版社
52	釣 井 千 恵	社会福祉	関西大学英語教育研究会 石井隆之・山 修	CNN:ビデオで見る世界のニュース(2) TOEIC テスト 基礎演習	朝日出版社 Macmillan Language House
53	前 田 淑 江	社会福祉	Paul Gilbert 他	<i>Listen and Learn</i>	金 星 堂
61	岩 永 道 子	経 営	Timothy Kiggell	<i>American Kaleidoscope</i>	Macmillan Language House
62	Daniel M. Walsh	経 営	Helgensen, M.	<i>New English Firsthand</i>	Lingual House

クラス	担 当 者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
63	大 橋 範 子	経 営	阿倍 一	<i>Active Communicator</i>	三 修 社
64	Louise Pender	経 営	Angela Buckingham Norman Whitney	<i>Passport</i> ※ ※ 1 Workbook (ISBN 457332 X) ※ 1 Teacher's book (ISBN 451336 X)	Oxford University Press
65	前 田 淑 江	経 営	Paul Gilbert 他	<i>Listen and Learn</i>	金 星 堂
66	渡 邊 眞理子	経 営	Angela Buckingham George W. Pifer	<i>Passport</i> <i>TOEIC Short Listening Course</i>	Oxford University Press 成 美 堂
67	渡 邊 眞理子	経 営	Angela Buckingham George W. Pifer	<i>Passport</i> <i>TOEIC Short Listening Course</i>	Oxford University Press 成 美 堂
81	Lynne Douglas	英語英米 〈再履修クラス〉	Liz and John Soars	<i>Headway, Elementary Level</i>	Oxford University Press
82	上 村 淳 子	英語英米	John McGrath Eric Patterson Hiromi Nema	<i>Listen In and Speak Out</i>	英 潮 社
83	太 原 康 雄	英語英米	関西大学英語教育研究会	<i>CNN:ビデオで見る世界のニュース(2)</i>	朝日出版社
84	山 科 美和子	英語英米	John S. Lander	<i>Discover</i>	成 美 堂
91	Ronald Cline	国際文化			
92	Lynne Douglas	国際文化	Liz and John Soars	<i>Headway, Elementary level</i>	Oxford University Press
93	Sandra Healy	国際文化	M. Helgesen / S. Brown / T. Mandeville	<i>English Firsthand 2</i>	Longman
94	Sandra Healy	国際文化	M. Helgesen / S. Brown / T. Mandeville	<i>English Firsthand 2</i>	Longman

英語Ⅱ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担当者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
〈リーディング〉					
01	横 山 三 鶴	英語英米 〈編入生クラス〉	Mark Farrell	<i>All About Britain</i>	Macmillan Language House
02	近 藤 撰 子	英語英米	中村憲明 編	<i>Newspaper English -2001/2002 Edition-</i>	成 美 堂
03	杉 井 正 史	英語英米	Carl Becker Richard Goodman	<i>Danger in Daily Life Oh! England</i>	英 宝 社 金 星 堂
04	Carlquist L. Harris	英語英米		<i>Journeys, Book 3</i>	Prentice Hall Regents
11	大 橋 襄	国際文化	Edwin O. Reischauer	<i>Japan And The World</i>	朝日出版社
12	都 築 郷 実	国際文化	木塚晴夫	英字新聞の読み方（第7版） 楽しく読める時事英語（第3版）	北 星 堂
13	David T. Van Ham	国際文化	Beth M. Pachelo	<i>The Powerful Reader ISBN-4-89585-254-7</i>	Macmillan Language House
〈ライティング〉					
01	杉 井 正 史	英語英米	桃沢 力	場面とジャンルで考える英作文	金 星 堂
02	David T. Van Ham	英語英米	George Ellington	<i>Writing Through The Skills ISBN-4-89585-173-7</i>	Macmillan Language House
03	三 宅 亨	英語英米	上地安貞	<i>Survival Writing for College Students</i>	三 修 社
11	阿 部 初 子	国際文化 〈編入生クラス〉	Vicki Starfire	<i>Writing in Action</i>	Macmillan Language House
12	中 島 剛	国際文化	Hisatake Jimbo Richard B. Murto	<i>Paragraphs That Communicate</i>	Macmillan Language House

クラス	担当者	対象	著者名	使用教科書	出版社
13	David T. Van Ham	国際文化	George Ellington	<i>Writing Through The Skills</i> ISBN-4-89585-173-7	Macmillan Language House
14	三宅敦子	国際文化	David Olsher	<i>Words in Motion : An Interactive Approach to Writing</i>	Oxford University Press
〈リスニング・スピーキング〉					
01	大川愛子	英語英米	Timothy Kiggell	<i>Wonderful USA</i>	Macmillan Language House
02	Carlquist L. Harris	英語英米	Molinsky & Bliss	<i>Express Ways 2</i>	Prentice Hall Regents
03	Jeffrey Herrick	英語英米	Dale Fuller and Clyde W. Grimm	<i>Milestones</i>	Longman
04	Louise Pender	英語英米		教科書の手配は自分でします。初講の後で決めないと、現時点では、学生のレベルがわからないので初めの授業で指示します。	
05	萬戸克憲	英語英米	R. R. Day J. Yamanaka	<i>Impact Topics</i>	Longman
06	作井恵子	英語英米	J. Richards	<i>Tactics for Listening</i>	Oxford University Press
11	近藤摂子	国際文化 〈編入生クラス〉	石井隆之 他編	<i>Skills and Strategies for the TOEIC Test</i>	Macmillan Language House
12	佐治多嘉子	国際文化	T. Kiggell H. Donald 丸山孝男 J. Knudsen	<i>Cubic Listening Over to Our Reporter</i> <i>A Short Course in English Jokes</i>	Macmillan Language House 南雲堂
13	釣井千恵	国際文化	John S Lander Timothy Kiggell Kevin Cleary	ハリウッドビデオで見る映画と スターたちー <i>Cubic Listening : Closing the Culture Gap</i>	朝日出版社 Macmillan Language House

クラス	担 当 者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
14	Jeffrey Herrick	国際文化	Dale Fuller and Clyde W. Grimm	<i>Milestones</i>	Longman
15	Jeffrey Herrick	国際文化	Dale Fuller and Clyde W. Grimm	<i>Milestones</i>	Longman
16	Kathryn L. マルヤマ	国際文化	Leonard, Todd Jay	<i>Talk, Talk : American Style</i>	Macmillan Language House

英語Ⅲ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）使用教科書一覧

クラス	担 当 者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
〈リーディング〉					
01	Raoul Cervantes	英語英米	Dubin & Dishtain	<i>Reading on Purpose</i>	Addison Wesley
02	太 原 康 雄	英語英米	Basil Lechatt	<i>People are funny</i>	Macmillan Language House
〈ライティング〉					
01	阿 部 初 子	英語英米 〈編入生クラス〉	Jane McElroy	<i>Write Ahead</i>	Macmillan Language House
02	大 井 映 史	英語英米	九頭見一士（編著）	<i>Twelve Ways to Communicative English</i>	三 修 社
03	David T. Van Ham	英語英米		<i>No Text</i>	
04	本 山 道 子	英語英米	上地安貞	<i>Survival Writing for College Students</i>	三 修 社
〈リスニング・スピーキング〉					
01	Carlquist L. Harris	英語英米 〈編入生クラス〉	Molinsky & Bliss	<i>Express Ways 2</i>	Prentice Hall Regents
02	Carlquist L. Harris	英語英米	Molinsky & Bliss	<i>Express Ways 2</i>	Prentice Hall Regents
03	山 科 美和子	英語英米	John S. Lander 森田勝之	<i>Hollywood Challenge Listening</i>	朝日出版社 金 星 堂
04	和 栗 了	英語英米	B. Smillie and H. Nema 九頭見一士	<i>Listening and Self-Expression</i> 例文で学ぶ生活用語 800（Ⅰ）	南 雲 堂 朝日出版社

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済英語 I	01	通 期	2 単位	野 出 孝 雄
【講義概要・学習目標】 我々は日常生活の中で意識の有無に拘らず、消費、労働、金融など、何らかの形で経済活動に参加している。従って経済は極めて身近な問題であると同時に国際化の進んだ現代社会では専門的に近いものも含め、数多くの要語による経済用語に接している。 当講座では、社会人としての職業人として、こうした現実のニーズに対応できるよう、また経済を学ぶ上で基本となる経済英語を解説を加えて判り易く学習指導する。	【講義計画】 前期： 経済の概念、景気変動、国家・国際経済等主にマクロ経済に関するもの 後期： 製造、商業、金融、サービス等の個々の産業や家計・企業といった主としてミクロ経済に関するもの			
【成績評価の方法】 出席率、中間及び学年末テストの総合評価	【参考文献】 当方で副教材も適宜準備、コピーして配布。			
【教科書】 石塚雅彦著 “経済英語入門(新版)”-日経出版 発 行 所： 日本経済新聞社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済英語 I	02	通 期	2 単位	和 田 肇
【講義概要・学習目標】 日本の経済は、今や世界経済と密接な関係にあります。今後、ますます人、物、金、サービスの交流が活発になり、経済のみならず、ビジネス活動がグローバル化、高度化していきます。学生諸君は、将来、国際社会で活躍されるにあたりパソコン操作の習得に加え、教養として、英語で経済記事が読め、発信できる能力を高めておく必要があります。そのツールとして、英字新聞が最適です。このクラスでは、英字新聞を通じ日本、世界経済の事象を学びます。記事の解説と同時に、文法、同義語、反意語、熟語にもふれていきます。日本のマスメディアとはやや異なる視点で、世界をながめてみましょう。英語と日本語の新聞を読むのが好きな人の参加を期待します。	【講義計画】 (前期) 1. 日本企業の海外進出 7. エネルギー問題 2. 企業買収、合併 8. 地球の環境問題 3. リストラクチャリング 9. 時事問題 4. 倒産 10. 時事問題 5. 商品開発 11. 時事問題 6. マーケティング 12. 時事問題 (後期) 13. ベンチャービジネス 19. 金利 14. 外国企業の日本進出 20. 証券市場 15. 日本の景気動向 21. 時事問題 16. 世界の景気動向 22. 時事問題 17. 為替相場 23. 時事問題 18. 銀行経営 24. 時事問題 (注) 年間を通じ、時機を得た時事問題を織り込む。			
【成績評価の方法】 前期、後期のレポート内容と出席状況に基づき総合的に評価を行う。語学習得には、根気と知的好奇心が必要です。	【参考文献】 英文経済記事の読み方 日本経済新聞社（日経文庫） 経済英語入門 日本経済新聞社（日経文庫） 新コンサイス時事英語辞典 三省堂／磯部 薫			
【教科書】 不要（当方にてプリントします）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済英語Ⅱ		通 期	2 単位	野 出 孝 雄
【講義概要・学習目標】 基本的な部分については私の講座「経済英語Ⅰ」と共通するが、当講座では用語についてより中深い範囲で学習する。 また英文経済記事を多用し、経済及びビジネスの実態に触れ理解することで、この分野の実用英語力を養う。	【講義計画】 (経済英語Ⅰと同様) 前期: 全体の即ちマクロ経済に関する基本用語・表現と英文記事読解 後期: 個々の業種や経済の基本要素 即ちミクロ経済に関する用語と英文記事			
【成績評価の方法】 出席率、中間及び学末テストの総合評価	【参考文献】 当方で必要と考える教材資料を適宜準備、コピーして配布。			
【教科書】 石塚 雅彦 著 「経済英語入門(新版)-日経文庫」 発行所: 日本経済新聞社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ビジネス英語Ⅰ	01	通 期	2 単位	野 出 孝 雄
【講義概要・学習目標】 文字通りビジネスの場、具体的には企業現場で用いられる英語という点に注ぐが、実際のニーズから、当講座では、主として貿易通信文と関連文書を取り上げる。 ビジネス英語には特有の用語、語訳、文体が多く、かつ文書の公式的・様式的な整った書式が要求される。 従ってこれらの基本を習得すれば、一般のレターをはじめ、その他実用分野の英文書類にも容易に活用、応用できる。	【講義計画】 前期: 1. ビジネスレターの形式・構成要素 2. 貿易取引の概略とその実用語 3. 取引の進行各段階におけるレター 後期: 1. 電信文 2. 通信文以外の関連文書類			
【成績評価の方法】 出席率、中間及び学末テストの総合評価	【参考文献】 参考資料を当方で適時準備、配布			
【教科書】 田中 武雄 著 「初めて学ぶビジネス英語」 (International Business English for Beginners) 発行所: (株)成美堂				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																								
ビジネス英語 I	0 2	通 期	2 単位	和田 肇																								
[講義概要・学習目標] 今後、国際ビジネスマンになるための必須条件としてパソコンと世界の主流語となりつつある英語を駆使する能力が考えられる。 英語を学習するにあたり、文法、単語といったハードウェアの重要性もさることながら、その言語が使用されている国の文化と人々の物の考え方を理解することつまりソフトウェアも理解しておくことが併せて大事である。 将来、学生諸君がアメリカへ赴任される際、事前に日米の企業文化を理解しておく、不要なトラブルに巻き込まれずに、楽しい海外生活が過ごせます。 私の長年の海外勤務経験（米国、東南アジア）をもとに、企業と駐在員の成功、失敗の実例にあたっても研究します。 教材としては、英次新聞、英文雑誌などを使い、記事の解説と同時に、文法、同義語、反意語、熟語にもふれていきます。 英語と日本語の新聞を読むのが好きな人の参加を期待します。	[講義計画] (前期) <table><tr><td>1. ビザ（査証）の取得方法</td><td>7. 米国人採用時の注意事項</td></tr><tr><td>2. 自動車免許の取得方法</td><td>8. セクシュアルハラスメント</td></tr><tr><td>3. 銀行口座の開設方法</td><td>9. 製造物責任（PL）</td></tr><tr><td>4. クレジットカードの取得方法</td><td>10. 集団訴訟</td></tr><tr><td>5. 米国での支店、現地法人の設立方法</td><td>11. 時事問題</td></tr><tr><td>6. 不動産購入方法</td><td>12. 時事問題</td></tr></table> (後期) <table><tr><td>13. 弁護士の利用</td><td>19. 人種差別</td></tr><tr><td>14. 企業買収（M&A）</td><td>20. 離婚</td></tr><tr><td>15. 株主代表訴訟</td><td>21. 大統領選挙</td></tr><tr><td>16. 取締役責任</td><td>22. 統規制</td></tr><tr><td>17. アメリカンドリーム</td><td>23. 時事問題</td></tr><tr><td>18. ベンチャービジネス</td><td>24. 時事問題</td></tr></table> (注) 年間を通じ、時機を得た時事問題を織り込む。				1. ビザ（査証）の取得方法	7. 米国人採用時の注意事項	2. 自動車免許の取得方法	8. セクシュアルハラスメント	3. 銀行口座の開設方法	9. 製造物責任（PL）	4. クレジットカードの取得方法	10. 集団訴訟	5. 米国での支店、現地法人の設立方法	11. 時事問題	6. 不動産購入方法	12. 時事問題	13. 弁護士の利用	19. 人種差別	14. 企業買収（M&A）	20. 離婚	15. 株主代表訴訟	21. 大統領選挙	16. 取締役責任	22. 統規制	17. アメリカンドリーム	23. 時事問題	18. ベンチャービジネス	24. 時事問題
1. ビザ（査証）の取得方法	7. 米国人採用時の注意事項																											
2. 自動車免許の取得方法	8. セクシュアルハラスメント																											
3. 銀行口座の開設方法	9. 製造物責任（PL）																											
4. クレジットカードの取得方法	10. 集団訴訟																											
5. 米国での支店、現地法人の設立方法	11. 時事問題																											
6. 不動産購入方法	12. 時事問題																											
13. 弁護士の利用	19. 人種差別																											
14. 企業買収（M&A）	20. 離婚																											
15. 株主代表訴訟	21. 大統領選挙																											
16. 取締役責任	22. 統規制																											
17. アメリカンドリーム	23. 時事問題																											
18. ベンチャービジネス	24. 時事問題																											
[成績評価の方法] 前期、後期のレポート内容と出席状況に基づき総合的に評価を行う。 語学習得には、根気と知的好奇心が必要です。	[参考文献] <table><tr><td>英文記事の読み方 新コンサイス時事英語辞典</td><td>日本経済新聞社編／日経文庫 三省堂／磯部 薫</td></tr></table>				英文記事の読み方 新コンサイス時事英語辞典	日本経済新聞社編／日経文庫 三省堂／磯部 薫																						
英文記事の読み方 新コンサイス時事英語辞典					日本経済新聞社編／日経文庫 三省堂／磯部 薫																							
[教科書] 不要（当方にてプリントします）																												

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ビジネス英語 II		通 期	2 単位	野 出 孝 雄
[講義概要・学習目標] 基本的に私の講座“ビジネス英語I”とほぼ同じ内容と手順で授業を進めるが、より多くの練習問題に取り組み読解と作文のより進んだ実用能力を養う。 国際化した職場や生活の中で必要とされる英語を戸惑いなく取り組める素養を身につけることを学習目標とする。	[講義計画] 前 期: 1. ビジネス レター 作成上の注意事項 2. 貿易取引の概略 3. 取引の進展各段階におけるビジネス レター 後 期: 1. ビジネス用語 2. 関連定型文書類 3. 応用練習問題			
[成績評価の方法] 出席率、中間及び学年末テストの総合評価	[参考文献] 参考資料を当方で適時準備、配布			
[教科書] 石井 陽一 } 共著 “最新ビジネス英語”-改訂版 大塚 翔夫 } 福田 靖 } (English for International Business Communication) 発行所: (株)成美堂				

〈文学部国際文化学科学科自由科目〉

「英語Ⅲ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）」

－ 応募要領 －

1. どのクラスも出席を重視します。一定の成果をあげるために、授業への継続的な出席が欠かせないからです。
2. 学則上、これらの科目は、「文学部国際文化学科学教育科目の学科自由科目（2単位）」に位置づけられています。
3. 履修登録にあたっては以下のとおり事前に予備登録（先着順受付決定）が必要です。

対 象 者 ： 96～99LⅠ生

定 員 ： 50名

日 時 ： 4月2日（月）9：10～15：00（11：30～12：30昼休憩）

場 所 ： 学務課窓口

申込方法 ： 先着順に受付決定します。学務課窓口で申込書を受け取り、必要事項を記入の上提出してください。

＜注意＞申込みにあたっては、事前に授業時間割表で希望クラスの曜日・時限・時間割コードを確認しておいてください。

〈国際文化学科 学科自由科目〉「英語Ⅲ」使用教科書一覧

クラス	担 当 者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
〈英語Ⅲ（リーディング）〉					
	橋 本 英 司	国際文化		プリント教材	
〈英語Ⅲ（ライティング）〉					
	木 村 ゆ み	国際文化	Jane McFloy	<i>Write Ahead</i> "A Process Approach to Academic Writing"	Macmillan Language House
〈英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）〉					
	Lynne Douglas	国際文化	Liz and John Soars	<i>Headway, Pre-intermediate Level</i>	Oxford University Press

〈共通自由科目〉の

「英語Ⅰ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）」

「英語Ⅱ（リーディング）（ライティング）（リスニング・スピーキング）」

「英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）」

－ 応募要領 －

1. どのクラスも出席を重視します。一定の成果をあげるために、授業への継続的な出席が欠かせないからです。
2. 学則上、これら科目は「共通自由科目（日本語・外国語系）（2単位）」に位置づけられています。
3. 履修登録にあたっては以下のとおり事前に予備登録（先着順受付決定）が必要です。

対 象 者 ： 96～00生

定 員 ： 各クラス50名

日 時 ： 4月2日（月）9：10～15：00（11：30～12：30昼休憩）

場 所 ： 学務課窓口

申込方法 ： 先着順に受付決定します。学務課窓口で申込書を受け取り、必要事項を記入の上提出してください。

＜注意＞「英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）」〈共通自由科目〉については、海外留学経験者もしくは、それと同等の語学力を有するものを対象とするアドヴァンストクラスですので注意してください。

〈共通自由科目〉「英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語Ⅲ」使用教科書一覧

クラス	担 当 者	対 象	著 者 名	使 用 教 科 書	出 版 社
〈英語Ⅰ（リーディング）〉					
	西 崎 和 子		Carl Becker	<i>Danger in Daily Life</i>	英 宝 社
〈英語Ⅰ（ライティング）〉					
	山 本 路 恵		Yasushi Sato & J, Kevin Varden	<i>Improving Your Writing</i>	南 雲 堂
〈英語Ⅰ（リスニング・スピーキング）〉					
01	三 宅 敦 子		Jack C. Richards	<i>Springboard 1 (Student book)</i>	Oxford University Press
02	Michael Carroll		Adrian Doff & Christopher Jones	<i>Language in USE : Intermediate</i>	London : Cambridge University Press
〈英語Ⅱ（リーディング）〉					
	出 原 博 明			プリント	
〈英語Ⅱ（ライティング）〉					
	Kevin R. Gregg			なし	
〈英語Ⅱ（リスニング・スピーキング）〉					
	Jeffrey Herrick		Dale Fuller and Clyde W. Grimm	<i>Milestones</i>	Longman
〈英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）〉					
	Philip Billingsley			使用しない	

「演習」等研究テーマ、使用教科書一覧

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
〈経済学部〉「演習3」		
荒 木 英 一	経済モデルのシミュレーション	開講時に相談して決める
一ノ瀬 篤	国際金融の実際	①高橋克秀『図解改正外為法』 (東洋経済新報社、1997年) ②井上洋『貿易実務の基本が身につく本』 (かんき出版、1998年) ③上川・藤田・向『現代国際金融論』 (有斐閣、1999年)
上 野 勝 男	わたしはだれ、ここはどこ？ ー経済社会の昨日・今日・明日ー	R・ハイルブローナー&W・ミルバーク著 (香内 力訳)『経済社会の興亡』(ピアソン・エデュケーション、2000年刊、2,400円)
梅 本 哲 世	戦後日本経済の歴史的研究	中村隆英『昭和経済史』(岩波書店) 中村隆英『現代経済史』(岩波書店)
桂 昭 政	市場経済の光と影	・伊藤元重(著)『市場の法則』(講談社)、 ・佐和隆光(著)『漂流する資本主義』(ダイヤモンド社)、 ・金子勝(著)『セーフティネットの政治経済学』(ちくま新書)
木 村 二 郎	日本経済の行方	未定。 テキスト決定次第E-Mailで連絡するので、 各自第1回目の演習前に生協で入手すること。
熊 谷 次 郎	アダム・スミスとケインズ ー経済思想とグローバル資本主義ー	佐伯啓思(著)『アダム・スミスの誤算ー幻想のグローバル資本主義ー(上)』、『ケインズの予言ー幻想のグローバル資本主義ー(下)』 (PHP新書)
巖 善 平	アジア経済の現状分析	経済企画庁調査局編『アジア経済2000』 大蔵省印刷局 2000年
芝 村 篤 樹	都市について考える	その都度指定する
庄 谷 邦 幸	地方自治体の産業政策 ー地域経済の活性化のためにー	随時指示する
鈴 木 健	腐蝕する政官財癒着システム	演習開講時に指定
滝 田 和 夫	景気循環の研究	随時プリント配布または指示

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
竹 歳 一 紀	食料・資源・環境をめぐる諸問題	レスター・R・ブラウン編著『地球白書2000-01』（ダイヤモンド社） （ただし、次年度版が間に合えば使用するかもしれない）
竹 原 憲 雄	高齢化と国際化と分権化の政策分析	未定
津 田 和 夫	我が国金融の課題と将来像	入門「日本の金融機関」高木仁、高月昭年著、東洋経済新報社、2000年4月初版、2900円
津 田 直 則	経済と社会の再生に向けて	文献紹介はすべてコピーで配布します
中 村 勝 之	経済学的観点からさまざまな現象を斬る	使用しない
西 川 憲 二	日本経済vsアメリカ経済	タガート・マーフィー著「日本経済の本当の話」毎日新聞社
野 田 知 彦	人事と組織の経済学	「人事と組織の経済学」日本経済新聞社 Edward P. Lazear 著 樋口・清家訳
藤 岡 純 一	日本と世界の財政	重森暁、鶴田廣己、植田和弘編『Basic現代財政学』有斐閣
前 田 治 郎	現代のヨーロッパ経済	なし
前 田 徹 生	日本国憲法と改憲論議	その都度紹介する
松 尾 純	21世紀日本の展望	大槻久志著『「金融恐慌」とビッグバン』 新日本出版社
三 邊 信 夫	国際経済学理論の研究	渡辺太郎著「国際経済」春秋社発行
モグベル ザファル	アジア経済の挫折と復興	アジア経済2000、経済企画庁調査局編、発行所、大蔵省印刷局
矢 根 眞 二	「企業・産業の組織・戦略」の研究と「コーディネーション能力」の養成	ミルグロム・ロバーツ（1997）『組織の経済学』NTT出版
吉 見 研 次	会社法判例の研究	鴻常夫他（編）『会社判例百選（第6版）』 （有斐閣）
林 錫 璋	消費者をめぐる諸問題	森島昭夫・伊藤進編『消費者取引判例百選』 （有斐閣）別冊ジュリスト135号
〈社会学部・社会学科〉「専門演習3」		
上 田 修	現代日本社会の探究	必要に応じて指示する

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
小 川 登	社会保障制度を知る	福祉士養成講座編集委員会（編）『社会保障論』（中央法規出版） 川村匡由（編著）『社会保障論』（ミネルヴァ書房）
軽 部 恵 子	国際問題のリサーチ・分析方法	・ 鷲田小彌太『「自分の考え」整理法』 PHP研究所 1999年 ・ 同 『入門 論文の書き方』 PHP研究所 1999年 ・ 高嶋幸広『相手の頭にスンナリ入る説明上手になる本』 PHP研究所 1998年
清 水 由 文	「食」の社会学	未定
鈴 木 博 信	世界をよむ・ロシアをよむ	「(ペンギン版)世界の現状」など、若干を使用の予定。詳細は追って発表
竹 内 真 澄	アメリカと北欧福祉国家の対比で日本を考える	ハワード・ジン『アメリカ同時代史』 明石書店
竹 中 英 紀	現代日本の都市と社会	購入を必要とする図書については別途指示する
津金澤 聡 廣	広報社会学の方法	その都度指示する (1部は事前説明会で明示する)
中 村 秀 之	ハリウッド映画の歴史社会学	蓮實重彦（著）『ハリウッド映画史講義』 (筑摩書房) 1993年 R・L・キャリンジャー（著）『『市民ケーン』、すべて真実』 (筑摩書房) 1995年 R・スクラー『アメリカ映画の文化史』上・下 (講談社学術文庫) 1995年 その他、適宜プリントを配布する。
西 川 一 廉	若者の職業意識を考える	未定
原 田 達	社会意識の社会学	池井望・仲村祥一編『社会意識論を学ぶ人のために』(世界思想社)
松 村 昌 廣	国際戦略論の研究	逐時指示する
宮 本 孝 二	英語で読む社会学	必要な教材は随時コピーで配布する
村 山 高 康	現代国際政治研究－歴史と現状分析－	随時指定する

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
〈社会学部・社会福祉学科〉「専門演習3」		
石 田 易 司	障害者・高齢者の生きがいづくりと組織キャンプ	石田易司（著）『痴呆性老人とキャンプ』（朱鷺書房） 石田易司（著）『さかさまの星座』（オモドック） 石田易司『CAMPING FOR ALL』
上野谷 加代子	コミュニティソーシャルワーク研究	・コミュニティソーシャルワークと自己実現サービス（万葉舎） ・社会福祉入門（有斐閣）他
北 野 誠 一	援助論のグランドデザイン	ゼミ中に適宜指示する
小 西 加保留	保健医療とソーシャルワーク	必要に応じて随時指示する
瀧 澤 仁 唱	現代日本の社会福祉と権利	必要があれば授業中指示する
坪 山 孝	介護保険時代の高齢者福祉分野に関する施設および在宅サービスの研究	教室で適宜資料を配布する
松 本 眞 一	児童福祉と少年非行	松本眞一（著）「児童福祉論」（相川書房） 松本眞一（著）「少年保護と児童福祉」（相川書房）
〈経営学部〉「専門演習3」		
明 石 吉 三	情報社会における情報技術・システムの役割	
稲 別 正 晴	現代日本企業の諸問題	別途指示する
井 上 義 祐	企業と経営情報システム	井上義祐著「生産経営管理と情報システム」 同文館平成10年
今 木 秀 和	経営戦略を考える	追って指示する
鬼 塚 光 政	「日本的生産システム」の海外移転	宗像正幸・坂本清・貫隆夫 編著『現代生産システム論－再構築への新展開』、ミネルヴァ書房
面 地 豊	経営労働論	演習がはじまって、学生の皆さんと決める。
片 岡 信 之	21世紀初頭の企業経営をさぐる	特にテキストは指定しない

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
岸 本 裕 一	流通と芸術とエンターテインメントとの相互 連関	岸本裕一・田中達彦（著）『タイアップソング・マーケティング』（同文館） 岸本裕一・生明俊雄（著）『J-POPマーケティング』（中央経済社） みつとみ俊郎（著）『音楽ジャンルって何だろう』（新潮選書）
小 林 哲 夫	コスト・マネジメント／原価計算論に関する 研究	小林哲夫『現代原価計算論：戦略的成本・マネジメントへのアプローチ』中央経済社
佐々木 宏	パソコンを駆使した経営コンサルティング	年間を通しての使用テキストはなし
清 水 信 匡	計画＋コントロールの研究	伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール 経営学入門』日本経済新聞社 澤田昭夫著『論文の書き方』（講談社学術文庫153）講談社
徐 龍 達	やさしい国際会計への入門	2000年9月末日まで海外研修中のため、2001年4月までに指定する。
武 田 久 義	保険とリスク・マネジメントの研究	後日指示する
谷 口 照 三	21世紀と経営学の可能性	A J.シュレドレイク著『経営管理論の時代』文真堂、2000年。 B グンター・パウリ著『アップサイジングの時代が来る－ゼロエミッションと雇用の創出』朝日新聞社、2000年。
全 在 叙	ビジネス・ゲームを通しての経営財務感覚の 練磨	協和醸酵（著）『人事屋が書いた経理の本』（ソーテック社）
中 田 信 正	会計学と実践財務諸表分析	飯野利夫（著）『財務会計論（三訂版）』（同文館）〈予定〉 中田信正（編）『セミナー資料：入門バランスシートの読み方（2001年3月期決算）』（大阪商工会議所・大阪簿記会計学協会）〈配布予定〉
野 田 俊 範	現代企業社会システムの研究	適宜指示する
長谷川 彰	日本商業史について考える	藤田貞一郎他『日本商業史』（有斐閣）
朴 大 榮	会計レンズを通して見た企業経営	伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』日本経済新聞社
牧 野 丹奈子	インターネット社会における企業経営のあり方	追って知らせる

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
〈文学部・英語英米文学科〉「セミナーⅠ」		
岡 田 章 子	英詩鑑賞	Alfred Tennyson : <i>Enoch Arden</i> (研究社小英文叢書)
金 城 盛 紀	シェイクスピア研究	Anna Claybourne and Rebecca Treays (共著) <i>The World of Shakespeare</i> (London : Usborne Publishing Ltd.)
島 田 勝 正	テストのテスト (Test of Tests)	Heaton, J.B. : <i>Writing English Language Tests</i> . Longman. 1988 (語学教育研究所テスト研究グループ (訳) 『コミュニケーション・テストング』研究社 1992)
清 水 真 一	英語とその構造	授業中に指示する
中 井 紀 明	ディキンソン草稿詩集研究	中井ゼミ編 (1999) 『ディキンソン草稿詩集』
藤 森 かよ子	短編小説から見るアメリカン・ホラーの世界 ーあなたの恐怖は、恐怖で癒そう!!ー	コピー資料使用 授業時に配布
〈文学部・国際文化学科〉「国際文化演習AⅠ」		
青 野 正 明	現代韓国および韓国・朝鮮文化の研究	必要に応じて指示します
小 林 信 彦	童話と説話	必要に応じて配布する
深 見 純 生	インドネシアの歴史と文化：国民国家の来し 方行く末	池端雪浦編『東南アジア2 島嶼部』（新版世 界各国史）山川出版社1999年
〈文学部・国際文化学科〉「国際文化演習BⅠ」		
岩 津 洋 二	ヨーロッパ文化研究	
尾 本 恵 市	先住民族と人権	
国 松 夏 紀	ロシア、その過去・現在・未来	(1) 和田春樹著『く地域からの世界史11く ロシア・ソ連』（朝日新聞社） (2) 原卓也監修『く読んで旅する世界の歴史 と文化くロシア』（新潮社）
米 山 喜 晟	イタリア人の体験と業績	適宜、全員にプリントを配付し、また個別に 読むべき本を指定します。
〈全学部・全学科（社会福祉学科を除く）〉「共通演習」		
竹 中 暉 雄	現代教育の諸問題	なし

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
寺 木 伸 明	底辺と周縁から見た日本史 ー歴史を読み直すー	大石慎三郎・斎藤洋一『身分差別社会の真実』 講談社現代新書
原 山 煌	伝統的中国世界とその周辺	宮崎市定（著）『中国史（上・下）』（岩波全書） 岩波書店
松 浦 道 夫	スポーツの功罪	未定
松 永 俊 男	博物館と図書館	授業時に指示する

「演習」等研究テーマ、使用教科書一覧

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
〈経済学部〉「演習4」		
荒 木 英 一	数量経済分析入門	
安 藤 洋 美	偶然性の考え方	安藤洋美（著）『確率論の生い立ち』 （現代数学社）
伊代田 光 彦	経済格差をめぐる諸問題	橋本俊詔（著）『日本の経済格差』（岩波書店）
梅 本 哲 世	日本経済の歴史的研究	中村隆英（著）『昭和経済史』（岩波書店） 中村隆英（著）『現代経済史』（岩波書店）
桂 昭 政	市場経済の光と影	○伊藤元重（著）『市場の法則』（講談社） ○佐和隆光（著）『漂流する資本主義』 （ダイヤモンド社） ○金子 勝（著）『反経済学』（新書館）
木 村 二 郎	日本経済の行方（2）	
巖 善 平	東アジア経済の成長と構造変動	
芝 村 篤 樹	都市について考える	その都度指定する
庄 谷 邦 幸	産業・企業と環境問題	
鈴 木 健	市場と国家、資本と国家、多国籍企業と国家	寺島実郎（著）『国家の論理と企業の論理』 （中央公論社／中公新書）
竹 原 憲 雄	高齢化と国際化と分権化の政策分析	
津 田 和 夫	21世紀の金融像を考える	鈴木淑夫・岡部光明（編）『実践ゼミナール 日本の金融』（東洋経済新報社）最新版
津 田 直 則	変革の時代の社会と経済	
西 川 憲 二	バブルと平成不況	吉富 勝（著）『日本経済の真実』（東洋経済）
野 田 知 彦	人事と組織の経済分析	エドワードP. ラジャー（著）・樋口清家（訳） 『人事と組織の経済学』（日本経済新聞社）
濱 田 博 男	現代資本主義の研究	日本経済新聞社（編）『ゼミナール・日本経済入門（最新版）』（日本経済新聞社）
落 谷 硯 児	平成不況と日米金融関係	吉川元忠（著）『マネー敗戦』（文藝春秋社） 文庫版

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
藤 岡 純 一	日本と世界の財政	重森 暁、鶴田廣己、植田和弘（編）『Basic 現代財政学』（有斐閣）
前 田 治 郎	現代のヨーロッパ経済	追って指示する
前 田 徹 生	現代の憲法問題	棟居、松井他（著）『基本的人権の事件簿』 （有斐閣）
松 尾 純	21世紀日本の展望	
三 邊 信 夫	日本経済と外国貿易	
モグベル ザファル	エマージング・マーケットの危機	経済企画庁調査局（編）『アジア経済1999』 （大蔵省）
望 月 和 彦	日本社会の再生はなるか	西尾幹二（著）『国民の歴史』（扶桑社） K・v・ウォルフレン（著）『日本権力構造の謎』 （ハヤカワ文庫）
矢 根 眞 二	企業家精神と規制の経済分析	追って指示する
吉 見 研 次	会社法判例の研究	鴻 常夫他（編）『会社判例百選（第六版）』 （有斐閣）
林 錫 璋	消費者をめぐる諸問題	森島昭夫、伊藤 進（編）『消費者取引判例 百選』（有斐閣） （別冊ジュリストNo135）
〈社会学部・社会学科〉「専門演習4」		
上 田 修	現代日本社会の探究	必要に応じて、指示する。
小 川 登	社会保障制度を知る	福祉士養成講座編集委員会（編）『社会保障論』 （中央法規出版） 川村匡由（編著）『社会保障論』 （ミネルヴァ書房）
過 放	エスニシティの社会学	
北 川 紀 男	現代文化の諸相	北川紀男（著）『文化社会学研究』1999年 （八千代出版）
木 下 栄 二	「家族現象」からみる現代日本	
清 水 由 文	「食」の社会学	
鈴 木 博 信	世界をよむ・ロシアをよむ	日本経済新聞

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
竹 内 真 澄	世界史における現代日本の社会文化	千葉忠夫（著）『せいかつ大国、こんにちは けいざい大国、さようなら』（ビネバル出版）
竹 中 英 紀	現代社会のフィールドワーク	購入を必要とする図書については別途指示する
津金澤 聡 廣	広報社会学の方法	その都度指示する
中 村 秀 之	現代文化とメディアの研究	井上 俊（編著）『新版／現代文化を学ぶ人 のために』（世界思想社）1998年
西 川 一 廉	働く人々の心理を考える	新聞の購読は必須条件である
原 田 達	現代・都市・文化の社会学	
松 村 昌 廣	国際戦略論の研究	逐時指示する
宮 本 孝 二	英語で学ぶ社会学	適宜コピーして提供する
村 山 高 康	現代国際政治研究－歴史と現状分析－	随時指定する
〈社会学部・社会福祉学科〉「専門演習 4」		
石 田 易 司	障害者・高齢者のいきがいくつくりとキャンプ	石田易司（著）『痴呆性老人とキャンプ』 （朱鷺書房） 〃 （著）『障害者キャンプマニュアル』 （エルピス社）
上野谷 加代子	地域福祉方法論	岩田正美、上野谷加代子、藤村正之（著） 『社会福祉入門－ウェルビーイングタウン』 （有斐閣）
北 野 誠 一	福祉サービス利用者のエンパワーメントと権 利擁護（アドボカシー）システムの検討	必要な資料・文献等は適宜指示
小 西 加保留	社会福祉の「アセスメント」を考える	渡部律子（著）『高齢者援助における相談面 接の理論と実際』（医歯薬出版株式会社）
瀧 澤 仁 唱	現代日本の社会福祉と権利	必要があれば授業中指示する
坪 山 孝	高齢者福祉分野における施設および在宅サー ビスの研究	教室で適宜、資料を配布する。
松 本 眞 一	児童福祉と少年非行	松本眞一（著）『児童福祉論』（相川書房） 松本眞一（著）『少年保護と児童福祉』 （相川書房）
〈経営学部〉「専門演習 4」		
明 石 吉 三	情報化社会における情報技術・システムの役割	

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
稲 別 正 晴	経営システムの国際比較	稲別正晴・全 在 紋（共編著）『環太平洋圏 企業経営への提言』（同文館）
井 上 義 祐	企業と経営情報システム	宮川公男（編著）『経営情報システム（第2 版）』（中央経済社）（平成11年）
今 木 秀 和	経営戦略の新潮流	大滝精一・金井一頼・山田英夫・岩田 智 （共著）『経営戦略』（有斐閣ファルマ）
岡 崎 守 男	現代の企業と金融・証券市場	日本証券業協会（編）『証券外務員必携（全 4冊）』（日本証券業協会）
鬼 塚 光 政	「日本的生産システム」の海外移転について	日本生産管理学会『トヨタ生産方式』 （日刊工業新聞社） その他追って指示する
片 岡 信 之	日本の企業グループと業界地図をさぐる	①キャリア・デベロップメント・センター （編）『図解 企業グループと業界地図（2000 年度版）』（高橋書店）（1500円） ②『会社四季報』（年間に4回出版されてい るので、買うときは授業時に指示する） （1500円くらい）
岸 本 裕 一	流通と芸術との相互連関	岸本裕一他（著）『タイアップソング・マー ケティング』（同文館）
小 林 哲 夫	コスト・マネジメント／原価計算論に関する 研究	小林哲夫（著）『現代原価計算論：戦略的コ スト・マネジメントへのアプローチ』 （中央経済社）
佐々木 宏	パソコンを使った経営コンサルティング	林 總（著）『経営コンサルタントという 仕事』（ぺりかん社）
清 水 信 匡	計画＋コントロールの研究	伊丹敬之・加護野忠男（著）『ゼミナール 経営学入門』（日本経済新聞社） 澤田昭夫（著）『論文の書き方』（講談社学術 文庫153）（講談社）
鈴 木 幾多郎	日本型マーケティングの革新	嶋口充輝・竹内弘高（編）『マーケティング 革新の時代①顧客創造』（有斐閣）
ソ 徐 ヨン グル 達 龍 達	国際会計学への入門	4年次にはミューラー・ガーノン・ミーク 『国際会計入門』（野村・平松監訳、中央経済 社）を使用する。

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
谷 口 照 三	21世紀の経営・経営学を考える	①ロバート・ブルース・ショー（著）『信頼の経営』（ダイヤモンド社） ②トム・モリス（著）『アリストテレスがGMを経営したら』（ダイヤモンド社） ③小宮山康朗+NHK取材班（著）『21世紀のビジネストrend』（汐文社）
全 在 紋	ビジネス・ゲームを通しての経営財務感覚の錬磨	協和醗酵（著）『人事屋が書いた経理の本』（ソーテック社）
中 田 信 正	会計学と実践財務諸表分析	飯野利夫（著）『財務会計論（三訂版）』（同文館） 中田信正（編）『セミナー資料：入門バランスシートの読み方（2000年3月期決算）』（大阪簿記会計学協会）＜配布予定＞
野 田 俊 範	現代企業社会システムの研究	適宜指示する
長谷川 彰	日本経営史の研究	宮本又郎他（共著）『日本経営史』（有斐閣）
朴 大 榮	財務会計と監査	伊藤邦雄（著）『ゼミナール現代会計入門』（日本経済新聞社）
堀 友 章	英文会計入門	
牧 野 丹奈子	情報化時代における企業組織のあり方	日経ビジネス（編）『最新経営イノベーション手法50』（日経BP社）
〈文学部・英語英米文学科〉「セミナーⅡ」		
小 野 良 子	シェイクスピアを読む	Stanley Wells（編） <i>The Oxford Shakespeare</i> (Oxford U.P.) ※翻訳版は、多種あるので、特に指定しない。
中 村 祥 子	イギリス小説探求	授業中に指示する John Dougill（著） <i>Popular Classics of English Literature</i> （英宝社）
野 原 康 弘	英語の歴史と文化	最初の授業で指示する
林 宅 男	談話に於ける言語の意味に関する研究	プリント教材
萬 戸 克 憲	英語教育における異文化間コミュニケーション	H. Motegi・S. Hesse D. Suzuki, <i>Dabating the Issues</i> (Macmillan Language House)
〈文学部・国際文化学科〉「国際文化演習AⅡ」		
片 倉 穰	文化交流の研究	担当者が準備する

担 当 者	研 究 テ ー マ	使 用 教 科 書
Philip Billingsley	闇と光が入り乱れる現代中国の社会と文化	
横 井 清	日本文化の研究	
〈文学部・国際文化学科〉「国際文化演習BⅡ」		
赤 瀬 雅 子	フランス文化と日本文化	富田 仁他（編）『街角のフランス語』 （駿河台出版社）
遠 山 淳	日本人の異文化間コミュニケーション	遠山 淳（共著）『異文化コミュニケーション・ハンドブック』（有斐閣）
友 沢 昭 江	日本語のダイナミズム	①大野 晋（著）『日本語練習帳』（岩波書店）660円 ②井上史雄（著）『日本語ウォッチング』（岩波書店）660円
坂 昌 樹	ヨーロッパの歴史と文化ードイツを中心にしてー	おって指示します
〈全学部・全学科（社会福祉学科を除く）〉「共通演習4」		
伊 藤 高 章	宗教と共同体ー魂のケアについて	大江健三郎（著）『燃えがる緑の木』第1部、第2部、第3部（新潮社） 大江健三郎（著）『宙返り』上、下（講談社）
冷 水 啓 子	現代社会における子どもの発達と教育	
高 橋 ひとみ	子どもの遊びとスポーツ	高橋ひとみ（編）『子どもの健康科学』（明研図書）
生 瀬 克 己	人の生きかた・学びかた	貝原益軒（著）・伊藤友信（訳）『慎思録現代語訳』（講談社学術文庫）

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅰ（人権問題概説） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））	01	後 期	2 単位	寺 木 伸 明
【講義概要・学習目標】 本講義では、人権問題について概論的に説明することになる。まず人権とは何かについて、外国や日本の人権思想の歴史をふりかえりつつ考える。 つづいて、現代の世界と日本に存在する人権問題の種類や実態について、具体例をあげながら講述する。 さらに差別と偏見について説明し、両者の関係についても検討を加える。 以上の検討をふまえながら、人権問題の解決・人権意識の確立が、平和の達成や社会福祉の充実および地球環境の保護にとっていかに重要な課題であるかということ、またこの課題解決がけっして他人の問題であるだけでなく、いかに自分自身にかかわる課題であるかということを考えていく。 最後に、現実存在する人権問題をどのようにすれば解決できるか、その見通しはどうか、といった問題について考えてみたい。	【講義計画】 (1) 人権問題とは何か (2) 人権とは何か (3) 人権思想の歴史 (4) 世界における人権問題 ①インドの種差別カースト問題 ②ユダヤ人差別問題 ③黒人差別問題など (5) 日本における人権問題 ①部落問題 ②在日朝鮮人問題 ③障害者問題 ④女性差別問題 ⑤アイヌ民族差別問題など (6) 差別からの解放・人権確立の展望			
【成績評価の方法】 試験の成績に、出席率（数回出席をとる）や感想文の内容を加味して評価する。	【参考文献】			
【教科書】 上田正昭 編『国際化の中の人権問題』明石書店				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅰ（人権問題概説） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））	02	前 期	2 単位	生 瀬 克 己
【講義概要・学習目標】 1948年12月に国連が採択した「世界人権宣言」は、その第1条において「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない」とうたっている。まことに高邁な理想であるが、こうした理念が現実化していないことは誰の目にも明らかであろう。 そこで、上記のような理念と現実の諸社会に生きている人びとの現実の間には、どのような問題があるのか。そうした「苦悩の現実」を解決するために、どのような取り組みがなされているのか。そうした諸点をできるだけ幅広く解説していくことにする。	【講義計画】 (1) 「ひとり」の人間として生きる (2) 「一人前」の社会人になるまで (3) 変革期の社会に生きる (4) 地球の環境をめぐって			
【成績評価の方法】 学年末に実施する「論術式筆記試験」が60％。講義期間中に教室で実施するレポート等が20％。質問や問題提起などによる日常活動が20％。	【参考文献】 そのときどきに指示します。			
【教科書】 特には指定しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅱ 一人権の思想と歴史＜世界＞－ (旧人権問題Ⅵ(人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ))	01 02	前 期 後 期	2単位 2単位	尾本 恵市
〔講義概要・学習目標〕 テーマ：先住民族と人権 民族はヒトの文化による区分で、人種は生物学的区分といわれる。しかし、最近の人類学の進展によって、古典的な人種分類は完全に破綻したこと、また民族についても単純な定義は成り立たないことが明らかになってきた。この講義では、まず、人種とは何か、民族とは何かについて概説した後、担当者自身が長年研究を行ったアジアの先住民族の2集団（北海道のアイヌとフィリピンのアエタ）について、その生物学的な由来と植民者による迫害の歴史、現在および将来の人権上の問題点等について講義する。アイヌは、我が国の先住民族であるにもかかわらず、その由来や文化の内容について学校等でほとんど教えられていない現状である。また、アエタは1991年のピナツボ火山の大噴火によって、居住地を失った苦難の状況にある。これらの現状を示すことによって、先住民族の問題を重要な人権問題として考える基礎知識とさらなる勉学への動機を与えたい。さらに、アメリカ先住民やオーストラリアのアボリジニについてもできるだけふれることにする。	〔講義計画〕 アイヌおよびアエタの文化や世界観、植民者による迫害の歴史や現在も存在する人権上の問題点、差別撤廃に向けての国際的な取り組みの現状等等について、担当者自身の関与したものも含めビデオ等を多用してわかりやすく講義する。毎回、出席票に質問や感想を書いてもらい、次回に答えるという授業スタイルによって、教師と学生との双方向的なコミュニケーションを図る。			
〔成績評価の方法〕 原則として出席点およびレポートによって評価するが、状況に応じて試験を実施することもありうる。	〔参考文献〕 萱野 茂他「アイヌ語が国会に響く」草風館（1997） 尾本恵市 「分子人類学と日本人の起源」 裳華房（1996）			
〔教科書〕 担当者の自著論文等をプリントとして配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅱ(人権の思想と歴史「日本」) (旧人権問題Ⅵ(人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ))	01	前 期	2単位	柳父 章
〔講義概要・学習目標〕 日本の人権の思想と歴史を、異文化との関わりという視点から考えていく。 人権という考え方は西洋で生まれた文化で、やがて世界中に広められた。だから、西洋文化が伝わる前の日本には、西洋文化におけるような一人の人間尊重の思想はなかったわけである。これが出発点である。 しかし、それと比較して同じではないが似たような考え方はあった。まず仏教思想である。それから近世のキリシタン、そして近代以後の人権思想である。 そして、西洋の人権思想と比較して、日本における「人間」というものについての考え方の特徴も分かってくる。その背景には、中国、インドの思想もある。そういう広い背景から日本の人権の問題について考えていきたい。	〔講義計画〕 日本の歴史には、異文化との大きな出会いには、4つのピークがある。まず古代、次に近世、そして近代、現代である。歴史の順序としてはこうであるが、人権の基本的考え方が明らかになったのは現代、とくに日本国憲法であるから、そこから出発して、次に歴史をさかのぼって考えていく、という順に講義していきたい。 ビデオをときどき使っていきたい。			
〔成績評価の方法〕 講義のあとで小テストをする。この小テストと、期末の試験とを総合して評価する。	〔参考文献〕 杉原泰雄著『人権の歴史』 岩波書店 1992			
〔教科書〕 とくにない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅱ（人権の思想と歴史「日本」） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））	02	後 期	2単位	柳父 章
〔講義概要・学習目標〕 日本の人権の思想と歴史を、異文化との関わりという視点から考えていく。 人権という考え方は西洋で生まれた文化で、やがて世界中に広められた。だから、西洋文化が伝わる前の日本には、西洋文化におけるような一人の人間尊重の思想はなかったわけである。これが出発点である。 しかし、それと比較して同じではないが似たような考え方はあった。まず仏教思想である。それから近世のキリシタン、そして近代以後の人権思想である。 そして、西洋の人権思想と比較して、日本における「人間」というものについての考え方の特徴も分かってくる。その背景には、中国、インドの思想もある。そういう広い背景から日本の人権の問題について考えていきたい。	〔講義計画〕 日本の歴史には、異文化との大きな出会いには、4つのピークがある。まず古代、次に近世、そして近代、現代である。歴史の順序としてはこうであるが、人権の基本的考え方が明らかになったのは現代、とくに日本国憲法であるから、そこから出発して、次に歴史をさかのぼって考えていく、という順に講義していきたい。			
〔成績評価の方法〕 講義のあとで小テストをする。この小テストと、期末の試験とを総合して評価する。	〔参考文献〕 杉原泰雄著『人権の歴史』 岩波書店 1992			
〔教科書〕 とくにない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅲ（現代社会と人権） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））	01 02	前 期 後 期	2単位 2単位	生 瀬 克 己
〔講義概要・学習目標〕 豊かなはずのわが国にあって、現在、いわゆるホームレスと呼ばれる人びとが、公園や河川敷や駅といった大都会の片隅に増え続けている。このようなことになってきた経過を、まずはふりかえる。そして、このような「現実」の背景に何があるのか。それは何を意味しているのかといった課題の理解をめざす。	〔講義計画〕 1) 「ひと」が生きていく場所 2) 「誰」が「どのように」ホームレスになるのか 3) 「何」が解決になるのか			
〔成績評価の方法〕 学期末に実施する「論述式筆記試験（60％）」と、講義期間中に数回は実施する予定の「レポート（40％）」の合計点で評価する。	〔参考文献〕 必要に応じて指定します。			
〔教科書〕 特には指定しません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅳ（旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ）） （在日韓国・朝鮮人問題）	01	前期	2単位	キム スギル 金 秀吉
〔講義概要・学習目標〕 現在、約65万人の韓国・朝鮮人が日本に定住している。この定住者を一般的に「在日韓国・朝鮮人」と称している。また、時には略して「在日」ともいわれる。 本講義を担当する私自身は在日3世であり、その体験を客観的にふまえながら、在日の＜過去・現在・未来＞を出来るだけ具体的に提示し、その理解と認識を深めていきたい。 その実践として、これまで在日韓国・朝鮮人を素材、またはテーマとして作られた映画（自作『潤の街』『尚美（サンミ）/蜜代』などを含む）や、テレビ・ビデオなどの映像作品をテキストとして利用することにより、在日を取りまく昨今の状況（2002年にサッカーのワールドカップが日・韓共催で行われるというわりには、在日の状況性は、その共催決定前と比べ、あまり進展がないということなど）が、より具現化され、学生各自がそれぞれにとっても身近な課題であるということを理性（知識）にとどまらず、未来の可能性を押しひろげてゆくための感（受）性の領域に対する喚起も探究してゆきたい。	〔講義計画〕 1 在日韓国・朝鮮人問題とは何か 2 在日の歴史 3 在日の現状 4 在日はどのように表現されてきたか 5 在日をどのように表現するか 6 在日の未来と展望			
〔成績評価の方法〕 教室での小レポートと、期末のテストを加味して評価する。	〔参考文献〕 蔵田雅彦（著）『隣人としてのアジア』（日本基督教団出版局） 蔵田雅彦（著）『マイノリティを旅する』（草風館） 田中宏（著）『在日外国人』（新版）（岩波新書） 鄭早苗・徐正禹（監修）『新・よりよき隣人として』（KMJ研究センター） 桃山学院大学（編）『定住外国人の人権』（改訂版）（桃山学院大学）			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅳ（旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ）） （在日韓国・朝鮮人問題）	02	後期	2単位	キム スギル 金 秀吉
〔講義概要・学習目標〕 現在、約65万人の韓国・朝鮮人が日本に定住している。この定住者を一般的に「在日韓国・朝鮮人」と称している。また、時には略して「在日」ともいわれる。 本講義を担当する私自身は在日3世であり、その体験を客観的にふまえながら、在日の＜過去・現在・未来＞を出来るだけ具体的に提示し、その理解と認識を深めていきたい。 その実践として、これまで在日韓国・朝鮮人を素材、またはテーマとして作られた映画（自作『潤の街』『尚美（サンミ）/蜜代』などを含む）や、テレビ・ビデオなどの映像作品をテキストとして利用することにより、在日を取りまく昨今の状況が、より具現化され、学生各自がそれぞれにとっても身近な課題であるということを理性（知識）レベルにとどまらず、未来の可能性を押しひろげてゆくための感（受）性の領域に対する喚起も探究してゆきたい。	〔講義計画〕 1 在日韓国・朝鮮人問題とは何か 2 在日の歴史 3 在日の現状 4 在日はどのように表現されてきたか 5 在日をどのように表現するか 6 在日の未来と展望			
〔成績評価の方法〕 教室での小レポートと、期末のテストを加味して評価する。	〔参考文献〕 蔵田雅彦（著）『隣人としてのアジア』（日本基督教団出版局） 蔵田雅彦（著）『マイノリティを旅する』（草風館） 田中宏（著）『在日外国人』（新版）（岩波新書） 鄭早苗・徐正禹（監修）『新・よりよき隣人として』（KMJ研究センター） 桃山学院大学（編）『定住外国人の人権』（改訂版）（桃山学院大学）			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅴ（障害者問題） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））		前 期	2 単位	生 瀬 克 己
〔講義概要・学習目標〕 世の中の障害のある人も障害のない人も、それぞれ自分なりの生きる目標をもって、生きがいのある充実した人生をおくれる社会にするための考え方を「ノーマライゼーション」と呼んでいる。 その場合、障害のある人が思うだけ「社会に参入」していくためには、それにふさわしいシステムを社会の側で用意しなければならない。だが、それだけでは、たぶん、十分ではない。障害のある人も、ない人も、それぞれの側から望ましい「共生社会」がどのようなかをみきわめながら、その方向にむかっての、双方からの工夫と努力が必要となってくる。そうした意味での「工夫」と「努力」はどのようなもので、いかにして、それらをなしとげうるかを考えることにしたい。	〔講義計画〕 障害者の登場する映画をビデオで観て、障害者がどのように映像化されてきたかを考える。そのうえで、その論点や課題を教室でレポートにまとめてもらったり、ディスカッションしたりする。			
〔成績評価の方法〕 学期末に実施する「論述式筆記試験（60％）」と、講義期間中に数回は実施する予定の「レポート（20％）」、質問・問題提起などによる「日常参加（20％）」。	〔参考文献〕 そのときどきに指示します。			
〔教科書〕 とくには指定しません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅵ（部落問題） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））		前 期	2 単位	寺 木 伸 明
〔講義概要・学習目標〕 本講義では、まず、人権とは何か、人権問題とは何かを考え、そして部落問題にかぎらず人権問題の解決がなぜ各人の課題になるのかについて検討する。次に、部落問題をなぜ学習するのか、その理由と意義について考える。こうした基礎的理解の上にたつて、被差別部落の現状や部落差別の実態について具体的に説明する。つづいて、こうした差別がいつごろ、どのようにして始まり、どのように変遷してきたのか、また、厳しい差別の中を部落の人々がどのように生き、闘ってきたのかを明らかにしながら、部落解放の展望についても考えていきたい。 講義は、ビデオ教材を活用して、具体例をあげながら進めたい。	〔講義計画〕 1. 人権・人権問題とは何か 2. 部落問題とは何か 3. 被差別部落の現状と部落差別の実態 4. 被差別部落に生きて（ゲスト講師予定） 5. 被差別部落の歴史 6. 部落解放運動の歴史 7. 部落解放の課題と展望			
〔成績評価の方法〕 テストの結果を成績評価の基本とする。 時々課す小レポートも、考慮する。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 解放出版社編「部落問題 資料と解説」（解放出版社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人権問題Ⅵ（女性問題） （旧人権問題Ⅵ（人権をめぐる諸問題Ⅰ・Ⅱ））		後 期	2 単位	生 瀬 克 己
〔講義概要・学習目標〕 多くの人びとは、たがいの異性とともに生きてきた。しかし、その形はその時々で違っていた。そして、近代になって、男女平等がさげばれるが、他方では、男性は社会で働く女性は家庭で家事・育児をするというような性別役割が固定化していく。だが、女性が社会に出て活動するのが当たり前の社会になってくると、こうした形態は不都合が多くなってくる。とくに、女性にとってはそうである。そして、それは、男性にとっても「息苦しい」ものである。そこで、男女のそれぞれが精一杯に生きていける社会とはどのようなものかということを考えていきたい。 以上のような課題を念頭に置きながら、具体的には、日本映画が描いてきた女性たちの有り様を素材にして検討していくことにしたい。	〔講義計画〕 1 はじめにー「女性」のことがなぜ問題にされたのか？ 2 前近代から「近代」へ 3 性別役割分業社会の構造と意味 4 女性の現在と過去 5 男性の現在と過去 6 おわりにーわれわれの現実と目標			
〔成績評価の方法〕 学期末に実施する「論述式筆記試験（60％）」と、講義期間中に数回は実施する予定の「レポート（40％）」の合計点で評価する。	〔参考文献〕 今泉容子『日本シネマの女たち』ちくま新書 1997			
〔教科書〕 とくには指定しません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教概論 （旧キリスト教学Ⅰ）		通 期	4 単位	滝 澤 武 人
〔講義概要・学習目標〕 キリスト教の根本経典である『聖書』、特に「新約聖書」をできるだけ多く読むことがこの講義の目標である。それを通して、今日のキリスト教や教会についても論ずることになる。もちろん、大学という場においては、理性的・学問的な研究成果を土台とすることになるので、「信仰」の有無などには全く関係なく受講できる。教養としてぜひ『聖書』に親しんでもらいたい。 いわゆる『聖書』には「旧約聖書」（39巻）と「新約聖書」（27巻）合計66巻のさまざまな時代のさまざまな文書が含まれている。それらは古代ユダヤ民族が残した人類全体にとって重要な知的遺産・世界の古典中の古典であり、今日においてもなお文学・美術・歴史・思想・宗教などに新鮮な光を投げかけている。	〔講義計画〕 今年度は主として「パウロ書簡」を読み進める予定である。人数にもよるが、皆でテキストを読みあい感想を纏めてもらう。真面目な学生諸君のねばり強い努力に期待している。なお、教科書として指定した『新約聖書』は必ず毎時間持参すること。			
〔成績評価の方法〕 試験・レポート・出席・受講姿勢などを総合的に評価する。	〔参考文献〕 AERA Mook 『新約聖書がわかる。』（朝日新聞社）			
〔教科書〕 新共同訳『新約聖書』（日本聖書協会） （できれば旧約聖書をも含んだものを準備し、授業時には必ず毎時間持参すること。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教特講 (マルコ福音書の研究) (旧キリスト教学Ⅱ (キリスト教文化))		通 期	4 単位	滝 澤 武 人
[講義概要・学習目標] 「新約聖書」には27巻のさまざまな文書が含まれており、それらはいずれも人類全体の大いなる知的遺産であり、今日においてもなお文学・歴史・思想・宗教・芸術などに対して新鮮な光を投げかけている。そのような「新約聖書」の中の「マルコ福音書」を読むことが今年度の講義の目標である。 「マルコ福音書」はいわば一つの「文学」（ノンフィクション、ドキュメンタリー、評伝）であり、その著者は「作家」「編集者」なのである。したがって、そこにはきわめて独自の思想と断固たる主張とが存在している。それを明らかにするためには、いわゆる「編集史的研究」という方法を土台としなければならない。真面目な学生諸君の主体的な受講を期待している。	[講義計画] マルコ福音書を段落ごとに読みすすめていく。また、次のようないくつかのテーマ別に論ずる予定である。 1 イエスに従う 2 弟子批判 3 民衆 4 ユダヤ教批判 5 人間主義・世界主義 6 神の国 7 福音 8 終末 9 十字架刑 10 復活			
[成績評価の方法] 試験・レポート・出席・受講姿勢などを総合的に評価する。	[参考文献] 滝澤武人『福音書作家マルコの思想』（新教出版社） 〃 『人間イエス』（講談社現代新書） 〃 『マルコの世界』（日本キリスト教団出版局） 田川建三『原始キリスト教史の一断面』（勁草書房）			
[教科書] 新共同訳『新約聖書』（日本聖書協会） （できれば旧約聖書をも含んだものを準備し、授業時には必ず毎時間持参すること。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
哲学特講（ギリシアの哲学者たち） (旧哲学Ⅰ（西洋古典哲学）)		通 期	4 単位	山 川 偉 也
[講義概要・学習目標] ギリシアの哲学者たちが残した思想的遺産に、生命・環境・芸術の観点からアプローチする。	[講義計画] テキストに沿って講義する。			
[成績評価の方法] 出席態度、前・後期試験の結果を総合的に判定して決定する。	[参考文献]			
[教科書] 山川偉也『古代ギリシアの思想』（講談社学術文庫）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
論理学		通 期	4 単位	山 川 偉 也
〔講義概要・学習目標〕 「世界市民」養成のための教養の論理を身につけてもらう。	〔講義計画〕 テキストに沿って授業を進める。			
〔成績評価の方法〕 毎回の授業がテストの積み重ねである。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 山川偉也・清水真一『論理開眼』世界思想社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文学特講 （日本近代文学をいろいろ作家達） （旧文学Ⅰ（文学概論））		通 期	4 単位	佐 藤 慶 子
〔講義概要・学習目標〕 明治、大正、昭和、平成の日本の作家達の短編小説を味わうことで、登場人物に託された人間の生き方を追いかけてながら、我々の生き方を見つめ直してみたい。	〔講義計画〕 担当者を決めて発表させ、質疑応答と討論で、授業を進めるので、発表者以外も積極的に参加してほしい。			
〔成績評価の方法〕 毎時間、初めの15分間程度で、その日の資料に目を通させ、自分なりに理解してみるレポートを書かせ、平常点とする。出席を重視し、前・後期末試験に、授業中の態度を加算する。	〔参考文献〕 必要に応じて紹介する。			
〔教科書〕 夏目漱石『文鳥・夢十夜・永日小品』角川文庫。 川端康成『掌の小説』新潮文庫。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本古典文学 (旧文学Ⅲ (日本古典文学概論))		通 期	4 単位	安 田 真 一
[講義概要・学習目標] 『源氏物語』葵巻を読んでいく。 葵巻は、六条御息所の生霊、賀茂祭での車争い、夕霧の誕生と葵上の死去、光源氏と紫上との新枕など話題は多い。それらを読み進めつつ、様々な角度から解釈し、論じてみたい。 その上でこだわりたいのは、〈読む〉ことの方法である。物語の想像力・創造力は、他のテキストとの関連から生まれるものである。そして、常にそれを読む現代の私たちと関わっている。その点を意識して読解していく。古典のおもしろさ、そして、テキストを〈読む〉技術を述べていきたい。	[講義計画] 葵巻の概要に触れつつ、古典解釈の方法論およびテキストの解釈のあり方について触れていく。 葵巻の内容に沿って順次それぞれの問題点と話題に関して講義していく。ただし、他の『源氏物語』の巻とも関連させて読み進めていく。			
[成績評価の方法] レポートによる。	[参考文献] 前田愛『増補文学テキスト入門』ちくま文庫 その他は、講義中に指示する。			
[教科書] 玉上琢彌訳注『源氏物語』第二巻（末摘花～花散里）角川文庫				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語学		通 期	4 単位	大 原 始 子
[講義概要・学習目標] 言語は、個人の読み書きや会話能力の対象として捉えがちであるが、一方で言語のあり様を客観的に理解していくために、世界の言語の系統、個別言語の音の体系、文の構造、ことばの変化や機能などを明らかにする様々な取り組みがなされている。これらの研究ををまとめて言語学という。 本講義は、基礎的な知識の習得を目的として、言語学の諸分野の概説と主な研究業績の紹介をしていく。 学生の多くにとっては、これまで、接することがなかった学問領域なので、専門用語に慣れるように、講義の間に理解しておいてほしい。受講生は、外国語に対する関心や、第一、第二外国語のある程度の知識を持つこと（辞書に出てくる発音記号くらいは理解しておくこと）が望まれる。	[講義計画] <前期> 言語と文化 世界の言語の位置づけ 言語接触 借用語 <後期> アクセントとイントネーション 地域差、世代差、男女差、階級差とヴァリエーション 文の構造、語の構造 会話の構造とコミュニケーション 公用語、国語、共通語、標準語			
[成績評価の方法] 前期、後期終了時の論述試験と、講義中に課すレポートの総合評価をする。	[参考文献] その都度、プリントして配布または指示する。			
[教科書] 『入門ことばの科学』（大修館書店）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本近代史		通 期	4 単位	佐々木 和 子
[講義概要・学習目標]		[講義計画]		
明治維新以降の日本近代史の諸側面を、代表的な都市である大阪の歩みを縦軸に概観する。特に都市の生活環境の変化とそれに伴う諸問題の発生や行政の対応といった観点からとらえていく。また、科学化された家事教育によって衛生思想の普及をはかった大阪での動きについても検討する。		1、日本資本主義の発達と大阪 2、大阪の都市環境の変化 3、大阪市立衛生試験所と雑誌「家事と衛生」 4、地域資料と文書館 以上の様な項目に留意しながら講義をおこなう。		
[成績評価の方法]		[参考文献]		
定期試験の成績と平常成績とで総合的に評価する。		「新修大阪市史」第7巻（1994年） 「大阪府の百年」（山川出版社、1991年） 「日本の文書館」（岩田書院、1997年）など		
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋近代史		通 期	4 単位	山 田 義 頭
〔講義概要・学習目標〕 近代ヨーロッパとは、ヨーロッパの拡大の時代だったといえる。しかしこの時代は、必ずしも明るい時代だったとはいえないし、この時代全体を通じてヨーロッパ諸国による世界支配、つまり非ヨーロッパ地域の隷属化が完成する。この講義では、いくつかのテーマを設定してこの問題にアプローチするが、学生諸君には、歴史のなかで「近代」のもつ意味を改めて考えてもらいたい。なお、講義のさいに小レポートを課することがある。質問・疑問などを書いてもらい、それにもとづいてさらに講義を進めることにしたい。	〔講義計画〕 主なテーマ ①時代区分としての「近代」：近代とはどのような時代か。いくつかの時代区分を紹介したうえで、近代の特質を考える。 ②ヨーロッパの歴史地理：地形をもとに、ヨーロッパ社会の宗教・民族・言語の分布を整理する。 ③ルネサンス：社会経済的背景を考える。 ④宗教改革：時代背景を整理したうえで、ルターとカルヴァンの職業観の比較をおこなう。 ⑤大航海の時代：ヨーロッパの拡大の過程と、それがもたらした諸問題（たとえば、奴隷貿易）について論じる。 ⑥産業革命：研究史を紹介したうえで、この革命がもたらした功罪を考える。 ⑦19世紀ナショナリズムの諸問題：その概念、発現形態、具体例（ドイツ統一）などについて論じる。 ⑧帝国主義の時代：19世紀後半のヨーロッパ列強の対立・抗争について論じ、第一次世界大戦への道を探る。			
〔成績評価の方法〕 出席と、レポートもしくは 試験によって評価する	〔参考文献〕 講義中に必要に応じて指示する。			
〔教科書〕 なし。講義のさいに、プリントを配布する				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
東洋史	01 02	通 期 通 期	4単位 4単位	原山 煌
〔講義概要・学習目標〕 この講義は、中国世界を中心とする東アジア世界を主な考察の対象とする。この地域の歴史は、「中華」と自認する漢民族と、その周辺に居住する諸民族（漢民族からは「夷狄」とよばれる）の二大要素の相対によって展開されてきたという見方ができる。よく知られている北方騎馬遊牧民族、匈奴や突厥、モンゴルなどは特に著名な活動により、中国世界の実質自体が大きく変貌することがしばしば見られたのである。東アジア世界を、そのような観点から通観し、再構成してみよう。こうした問題関心は、多民族複合国家として存在する現在の中華人民共和国を考えてみる場合にも大きなヒントにも、結びつくことだろう。				
〔講義計画〕 1. この授業の目的と講義の進め方の説明 2. 多民族複合国家、中華人民共和国とは 3. 中国世界の表情 4. 中華と夷狄 5. 以下、時代を追って東アジア史を通観して行く				
〔成績評価の方法〕 授業への理解度と出席状況を確認するための小テストを毎回おこなって出席状況と理解状況を確認する。これと各学期末の定期試験によって総合的に評価する。				
〔参考文献〕 寺田隆信『物語 中国の歴史』中公新書 中央公論社。 間野英二等『内陸アジア』地域からの世界史6 朝日新聞社。				
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会学		通 期	4 単位	清 水 夏 樹
〔講義概要・学習目標〕 集団、組織、ネットワーク、地域社会、福祉文化といった基礎概念をまなぶことから始め、社会的な見方・とらえ方とはどういうことかを理解できるよう概説する。とくに、「共同体」から「協同体」へ、た、「ハード」から「ソフト」へ、という情報化社会の動向を軸に、情報通信技術の高度化にともなう諸問題をとりあげ、現代社会の光と影－健康面と病理面－を照射してみたい。日常的な話題やトピックスに眼を向けつつも、現代社会を生み出した歴史性とアイデンティティの基礎基盤を問う姿勢を忘れずに学んでほしい。				
〔講義計画〕 前期：社会的自我の形成、期待と役割、言葉とコミュニケーション、役割と組織、集団と社会的行動、文化と行動様式、共同体社会と集合表象、準共同体の弾力性レベル 後期：階層と階級、宗教と社会、中産階層と市民社会、情報ネットワーク化と文化的協同体、消費社会と新しい集団弾力性				
〔成績評価の方法〕 年度末試験。簡易レポート、簡易テストと随時参照する				
〔参考文献〕 授業中に指示する。				
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経 営 学		通 期	4 単位	道 明 義 弘
〔講義概要・学習目標〕 この講義では、グローバル・スタンダードのもとにおいて、現在、わが国の経営が直面している重要な課題、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の問題を多様な側面から考えることによって、経営の行動について理解し、わが国の経営が進んでいくのが望ましいと考えられる方向について、現実起こっている状況をふまえて、各自が考えることができるようになることを目的としている。そのために、アメリカにおける状況、および、諸外国の状況を考慮しつつ、日本の「経営の行動」が置かれている非常に厳しい状況と、それに対処している各経営の行動について、できるだけ具体的に、法制にも注意しつつ、考えていく。アメリカの状況については、下記の教科書を用いて見ていくことにしたい。さらに、理解を促進するために、多様な資料を提供・利用し、実際の状況をできるだけ問題点を明らかにしつつ、具体的に考えることができるようにしていく予定である。		〔講義計画〕 講義は、以下の順序で進めていく予定である。 1. 経営の行動とコーポレート・ガバナンス 2. アメリカにおけるコーポレート・ガバナンスの過去と現在 テキスト『アメリカの取締役』は次のような内容である。 典型的な取締役会の機能 一般に認められている役割 支配力 取締役の選任と動機付けの基準 内部取締役 取締役としての投資銀行家 同族会社における取締役会 3. 諸外国のコーポレート・ガバナンスの状況 4. わが国のコーポレート・ガバナンスの現状と経営の進むべき方向 以上の順序で説明を進める予定である。そして、それぞれの内容について、理解を促進するために、できるだけ新しい情報を提供していくことによって、今の状況に直面する経営における諸問題について考えることができるようにしていきたい。		
〔成績評価の方法〕 講義の理解度をチェックする目的で講義中に実施する数度の小テスト、及び、「経営の行動」に関する最終レポートによって評価する。最終レポートの課題については、講義の終了時に提示する予定。		〔参考文献〕 山本安次郎・加藤勝康編著『経営学原論』文真堂、1982年 山本安次郎・加藤勝康編著『経営発展論』文真堂、1997年 他の参考文献については、講義の中で指示する。また、講義で利用する資料については、適宜講義の中で配布する予定である。		
〔教科書〕 メイス著『アメリカの取締役－神話と現実－』文真堂、1997年				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
政治学		通期	4 単位	捧 堅 二
〔講義概要・学習目標〕 受講者が高校の社会科の「政治経済」程度の知識をすでに修得していることを前提にして、政治学と現代政治とを講義する。 受講者自身がメディアの水準を超えたレベルで政治を分析できるようにすることが目標である。		〔講義計画〕 1 制度 2 イデオロギー 3 体制 4 歴史 5 状況		
〔成績評価の方法〕 ①出席を重視する(欠席してはならない)。 ②レポートを頻繁に提出させる。 ③定期試験を実施する。 ④あらかじめ覚悟してもらいたい、今年度よりきわめて厳格に成績評価を行う。多数の受講者が単位を取得できないことになるだろうが、それでもあえて頑張ろうという諸君の受講を歓迎する。 注意:講義中の私語、飲食は絶対に許さない。きびしく叱責し、ただちに退室を命じる。場合によっては、「制裁」を加える。		〔参考文献〕 講義の際に、随時、参考文献をあげる。		
〔教科書〕 使用しない				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
法学	0 1	通 期	4 単位	前田 徹生
〔講義概要・学習目標〕 概 要 市民の社会生活に関連の深い法分野について、基礎的な知識を講述する。 私語・遅刻は厳禁。 なお、下記の教科書は毎授業時間に携帯すべき本という意味である。 目 標 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。 3 基本的人権、権利擁護、成年後見制度等社会福祉士に必要な内容について理解させるよう留意する。	〔講義計画〕 1 社会生活と法 2 憲法 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治 3 民法 1) 総則（成年後見を含む） 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続 4 行政法 1) 行政行為及び行政手続 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 情報公開 5) 地方行政組織			
〔成績評価の方法〕 前期、後期の二度の試験を総合して評価する。	参考文献〕 伊藤正己・加藤一郎 編 『現代法入門』（第3版補訂版） 有斐閣 中谷実 編 『ハイブリッド憲法』 勁草書房 芦部信喜 『憲法』 岩波書店 谷口知平・甲斐道太郎 編 『現代民法入門』（新版） 法律文化社			
〔教科書〕 伊藤正己 『法学』（第二版） 有信堂				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
法学	0 2	通期	4 単位	寺田 友子
〔講義概要・学習目標〕 学習目標 刑事手続を素材に日本国憲法の人権保障・違憲法令審査制度について理解を深める。 講義概要 日本国憲法は、明治憲法下の人権侵害を反省して詳細な人権保障条項を規定した。前期は、日本国憲法制定史をも踏まえて、国家の国民に対する権力行使である刑罰権の発動にかかわる罪刑法定主義を理解する。その前提として、刑罰の意義及び種類並びに犯罪成立要件についての基礎的知識をも体得する。それまでの基本的知識を整理し、理解を深めるために安楽死判決を素材にする。その判決を学ぶ過程で、法源の機能、法の適用過程等について理解する。次に、日本国憲法の最高法規性を学んだ上で、死刑の合憲判決、尊属殺人罪違憲判決を詳細に検討する。その過程で家族法に関する基本的概念を学ぶ。又、平等原則についても理解を得たうえで、非嫡出子の相続分規定の合憲判決も検討する。その過程で違憲法令審査制度の機能について理解する。 後期は、法源の種類（憲法の意義、条約、法律、命令、条例、最高裁判所規則、議院規則）、形式的効力等法の効力等についても憲法訴訟（砂川事件、奈良県ため池条例事件、徳島県公安条例事件、NHK放送公布事件、官報公布事件等々）を素材に理解を深める。その際、三権分立等国家の機構についても理解する。これらの判決を学ぶ過程で、人権保障の内容（刑事補償と国家賠償）と憲法の最高法規性、違憲法令審査制度についても理解を深める。	〔講義計画〕 前期 §1 刑罰の種類 2 犯罪成立要件 3 法の適用過程 4 安楽死訴訟 5 憲法の最高法規性と違憲法令審査制度 6 死刑の合憲判決 7 尊属殺人罪と家族法の基礎概念 8 平等原則と尊属殺人罪違憲判決 後期 9 法治国家と罪刑法定主義 10 命令概念と行政機構 11 全農林警職法事件と労働基本権 12 条例概念と大阪市売春防止条例 13 奈良県ため池条例事件と徳島条例事件 14 形式的効力の原則と条約の概念 15 法の時間的効力と公布をめぐる諸般 16 同位の法間の効力関係と国家補償 17 損害賠償における特別法と一般法			
〔成績評価の方法〕 基本的には、前期及び後期に行うテストで成績評価を行うが、レポート提出、出席、授業時間に行うテスト等を評価に加味する。	〔参考文献〕 芦辺・高橋・長谷部『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第4版）』（有斐閣） 中谷実編『ハイブリッド憲法』 1995年 勁草書房 渡辺洋三著『法とは何か』 岩波書店 渡辺洋三著『法を学ぶ』 岩波書店			
〔教科書〕 『ポケット六法 平成13年版』（有斐閣）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
心理学	02	通 期	4 単位	伊 藤 高 章
【講義概要・学習目標】 Psychology という語は、語源的には魂（たましい）もしくは霊に関する学問という意味である。そして、人類の歴史においてこの魂や霊のことがらは、永く宗教が扱ってきた。本講義では前期において、宗教と心理学との関係を明らかにしてゆくと共に、近代心理学のもつ人間観の特徴を理解することを目指す。その際特に、フロイトとユングが展開した無意識に関する理論に注目する。後期においては、他者の魂の声に耳を傾ける姿勢を養う意味で、カウンセリング及び「カウンセリング・マインド」について学ぶ。 これからの社会に必要なとされる「ケア」の人間関係の基礎	【講義計画】 以下の内容を含む <前期> 諸宗教における心のケア フロイトの人間観 ユングの人間観 エリクソンの人間観 近代心理学の展開 <後期> カウンセリングの人間観 カウンセリング理論の前提 カウンセリングの理論 非指示的療法 ゲシュタルト療法 論理情動療法			
【成績評価の方法】 出席を重視する。 教科書のほかに3～4冊分のブック・レポートを課す。 学年末試験。	【参考文献】 随時指示する			
【教科書】 山中康裕（1996）『臨床ユング心理学入門』（PHP新書 004） 小此木啓吾（1989）『フロイト』（講談社学術文庫 860） 平木典子（1989）『カウンセリングの話 増補』（朝日選書 375）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
心理学	03 04	通 期 通 期	4 単位 4 単位	伊 藤 正 人
【講義概要・学習目標】 現代の心理学では、実験や観察という客観的方法により、ヒトや動物の行うあらゆる行動を組織的に研究する。心理学の課題は、このような行動に影響する様々な要因を探索し、行動の原理（法則）を定式化し、私たちの日常生活における様々な行動を説明（予測と制御）することである。近代心理学の出発点は、ドイツの心理学者プント（Wundt）がライプツヒ大学に世界で最初の心理学実験室を創設した1879年にさかのぼる。現在までおよそ120年の現代心理学の歴史は、「こころ」という多義的で曖昧な対象をどの様に捉えるかということに腐心してきた足跡であるといえる。このような先達の努力を振り返ることは、真の意味で心理学の理解を深めることになる。 本講義は、心理学の歴史をたどりながら、現代心理学の課題を理解するための枠組みを提示する。また、教室で心理学実験を行い、受講者が被験者となることで、心理学のより深い理解を促進させる。	【講義計画】 前期では、まず心理学の歴史を振り返り、現代心理学の課題を提示する。続いて、心理学の各領域の課題を網羅的に眺めてみる。取り上げる領域は、行動・学習、動機づけ・情動、知覚・認知、パーソナリティである。 後期では、心理学の領域のうち、学習の問題に焦点を当て、「学習の原理」が私たちの日常生活の様々な行動にどの様に適用できるのかを考える。また、名作映画のなかに現れる心理学の問題を取り上げて題材としたい。取り上げる映画は、「時計じかけのオレンジ」（1971年）、「オズの魔法使い」（1939年）、「羊たちの沈黙」（1991年）、「2001年宇宙の旅」（1968年）などである。各自レンタルビデオなどで一度は見ておくこと。			
【成績評価の方法】 成績評価は、講義中に行う数回の小テストと学年末試験による。	【参考文献】 心理学事典 平凡社 心理学辞典 有斐閣 現代基礎心理学全12巻 東京大学出版会 行動心理ハンドブック 培風館 心理学双書全10巻 有斐閣 「メイザーの学習と行動」二瓶社			
【教科書】 糸魚川・春木編「心理学の基礎」有斐閣（前期） 佐藤方哉「行動理論への招待」大修館（後期）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
心理学	05	通 期	4 単位	林 陸 雄
〔講義概要・学習目標〕 個々の人間について、その特性を的確に把握し理解することは困難である。しかし、現実社会が多くの多様な価値観と生き方をもつ人々によって構成され、それらの人々の相互作用によって営まれている以上、人々にとって的確な人間理解能力は必要不可欠といえよう。 個々の人間理解の前段として、一般的にいつて人間とは何か、人間はどのように行動するのかについて、現代心理学の立場から概観する。 テキストを中心に展開するが、時には、ビデオ視聴または指定図書の閲読によって人間理解を深める工夫をしたい。小レポートはそれらに関連して課すので、出席常ならざる履修生は、情報入手ならびに対応で苦慮することになるであろう。要注意である。		〔講義計画〕 1. 心理学とは 1 2. 心理学とは 2 3. 知覚の仕組み 1 4. 知覚の仕組み 2 5. 知覚の仕組み 3 6. 記憶の仕組み 1 7. 記憶の仕組み 2 8. 記憶の仕組み 3 9. 思考の仕組み 1 10. 思考の仕組み 2 11. 思考の仕組み 3 12. 前期の補足 1 13. 前期の補足 2 14. 前期のまとめ 1 15. 前期のまとめ 2 16. 社会的認知の仕組み 1 17. 社会的認知の仕組み 2 18. 社会的認知の仕組み 3 19. 感情の働き 20. 動機づけとは 21. パーソナリティとは 1 22. パーソナリティとは 2 23. パーソナリティとは 3 24. 発達と成長 1 25. 発達と成長 2 26. 発達と成長 3 27. 後期の補足 1 28. 後期の補足 2 29. 後期のまとめ 1 30. 後期のまとめ 2		
〔成績評価の方法〕 2/3以上の出席、数回の章単位のレポート、期末考査の結果を総合して行う。		〔参考文献〕 授業中に適宜紹介する。		
〔教科書〕 北尾倫彦、中島実、井上毅、石王敦子 共著 『グラフィック 心理学』 サイエンス社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
有限数学 (旧数学Ⅰ)		通期	4 単位	藤 間 真
〔講義概要・学習目標〕 小中高と学んでくうちに数学が嫌いになった人は多いでしょう。無味乾燥で現実と無関係だという印象を持っている人も多いと思います。 ところが、歴史的には、数学は、無味乾燥な知識体系として突然出現したのではなく、他人と理性的に合意に達するために、筋道立てて議論を進めることや定量的に物事を扱うことから発展した知識体系です。 本講義の目的は、理性的に理解を進め、他人と合意に達するための道具としての数学に光を当てることにあります。言い換えると、丸暗記したものを吐き出すだけの数学を扱うことはしません。 高校での数学の知識は要求しません。内容的には高校までの数学と重複することもあるでしょうが、まったく新しい切り口で扱います。 連絡は掲示によって行いますから、常に掲示に留意してください。		〔講義計画〕 最初に、筋道をたてて考えたり表現したりすることの基礎付けである論理学の基礎を扱います。 続いて現代数学の基本的道具ともいえる集合論の基礎を扱います。 後期は「いくつかの数をまとめて扱うために普通の数の概念を拡張する」、という視点からベクトルと行列の基礎と、基礎だけで展開できる応用問題を扱います。		
〔成績評価の方法〕 学年末試験の成績を中心に、平常成績を考慮して評価します。		〔参考文献〕 細井勉著、新曜社、「教養の数学」 大村平著、日科技連出版社、「論理と集合のはなし」 大村平著、日科技連出版社、「行列とベクトルのはなし」		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
解析学 (旧数学Ⅱ)		通期	4 単位	藤間 真
〔講義概要・学習目標〕 小中高と学んでくうちに数学が嫌いになった人は多いでしょう。無味乾燥で現実と無関係だと印象を持っている人も多いと思います。 ところが、歴史的には、数学は、無味乾燥な知識体系として突然出現したのではなく、他人と理性的に合意に達するために、筋道立てて議論を進めることや定量的に物事を扱うことから発展した知識体系です。 本講義の目的は ・“変化”を抽象的に捉える枠組みである関数概念の伝授。 ・関数の性質を扱うための学問である微分積分学の初歩の伝授 ・数学を扱うソフトウェアの使用法に慣れること。 という3点です。 高校での数学の知識は要求しません。内容的には高校までの数学と重複することもあるでしょうが、まったく新しい切り口で扱います。 連絡は掲示によって行いますから、常に掲示に留意してください。				
〔講義計画〕 <前期> ・Macintoshの初歩 ・Mathematicaの初歩 ・関数とは ・関数の実例 ・極限とは ・微分とは <後期> ・微分とは（承前） ・積分とは ・応用				
〔成績評価の方法〕 学年末試験の成績を中心に、平常成績を考慮して評価します。				
〔教科書〕 開講時に指示します。				
〔参考文献〕 一松 信著 初等関数概説-いろいろな関数- 森北出版 一松 信著 微分積分I はじめて学ぶ人に 丸善 井上 真著 見る微分積分学-Mathematicaによるイメージトレーニング- 東京電機大学出版局				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
統計学		通 期	4 単位	井 上 勤
〔講義概要・学習目標〕 論理的なものは出来るだけさけて具体的なものから統計学の本筋に入っていく。 継続的な受講が統計学の実践に役立つ。 講義概要は講義計画の通りである。 各自電卓は必携である。				
〔講義計画〕 (1) 標本調査, 実験計画 (2) 記述統計 (3) 推定, 検定 (4) 決定, 予測 を講義の柱として 1. 統計学とは何か 2. 度数分布 3. データの特性値 4. 多変数データの整理 5. 確率変数と確率分布 6. さまざまな母集団分布 7. 標本分布と正規近似 8. 確率モデルと推定 を取り扱う。				
〔成績評価の方法〕 主資料は定期試験の成績と平常授業の出席状況である。				
〔教科書〕 田中勝人 著 統計学 新世社／サイエンス社				
〔参考文献〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
環境問題概論 (旧生物学)	0 1 0 2	通 期 通 期	4 単位 4 単位	巖 圭 介
[講義概要・学習目標] 環境問題に関するニュースがマスメディアに流れない日はない。ダイオキシン、環境ホルモンといった、人体に悪影響があるとされる人工化学物質の検出、シックハウス症候群やアレルギー、家庭ゴミや産業廃棄物の処理機能の限界、リサイクル、省エネルギー、環境に優しい製品、水や大気の汚染、オゾンホール、地球温暖化。あふれかえる情報はかえって市民の感覚をマヒさせ、センセーショナリズムと虚無、そして不安に乗じた似非（えせ）科学をはびこらせる。 今必要とされるのは、上滑りなマスコミの情報に惑わされないための正しい基礎知識と、いたずらに不安を増幅させられないための基本的なものの考え方である。この授業では現在の主要な環境問題についての基礎的な理解を深め、環境意識を高めてもらいつつ、環境に関する情報の洪水の中を泳ぎ抜く力をつけてもらうことを目的とする。	[講義計画] 以下のテーマをカバーする予定。 ・破壊される地球システム 酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化 ・あふれるゴミ ・汚される地球 DDT・PCB、ダイオキシン、環境ホルモン ・水質汚染 ・失われる熱帯雨林 ・砂漠化する大地 ・エネルギー問題			
[成績評価の方法] 前期末と後期末2回の論述式試験、夏休み、冬休みのレポートに加え、授業中に数回提出してもらう感想文により判定する。	[参考文献] 適宜授業中に示す			
[教科書] とくになし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
運動生理学 (旧生理学)		通 期	4 単位	松 浦 道 夫
[講義概要・学習目標] まず、解剖学の基本的知識の上に、生理学的諸法則を学びます。次いで、運動生理学の基礎を知ってもらいます。文化系大学では、体育・スポーツ系以外で人間の生命現象を説明する科目はほとんどありません。ですから、社会や自然を理解する以上に、人体を通して人間を理解することも大切だと思います。少し難解かも知れませんが、運動生理学を学んで、個としての人間を理解して下さい。そして、それによって、現代社会を積極的にたくましく、よりよく生きるために応用して下さい。なお、この科目は、体育・スポーツ系のみならず、心理学・公衆衛生学・情報理論などの基礎分野でもあります。	[講義計画] <前期> 1. 細胞の意味と役割 2. 細胞の活性化 3. 骨の構造と機能 4. 運動と骨 5. 筋の構造と機能 6. 運動と筋 7. 運動の持続時間とエネルギーの供給 <後期> 8. 神経系の構造と機能 9. 運動と情報伝達 10. 脳と感情発現 11. 自律神経とホルモン 12. 運動と全身持久力 13. 血液の成分と役割 14. 現代人の生活と健康			
[成績評価の方法] 適宜、受講生にエッセイを課し、最終講義日のテストと合わせて評価します。	[参考文献] 授業の進行に合わせて知らせます。			
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本近代文学		通 期	4 単位	佐 藤 慶 子
【講義概要・学習目標】 日本の明治から大正、昭和、平成へという、近代、現代文学の流れを追いかけることで、我々が何を求めて生きてきたのかを、人間を理解するために苦悩と挫折を繰り返した、各時代の作家の作品を通して、探りたい。	【講義計画】 講義形式で、資料をもとに、解説を加えてゆく。 意見を求めるので、意欲的に発表してほしい。			
【成績評価の方法】 毎時間、初めの15分間程度で、その日の資料に目を通させ、自分なりに理解してみるレポートを書かせ、平常点とする。出席を重視し、前・後期末試験に、授業中の態度を加算する。	【参考文献】 必要に応じて紹介する。			
【教科書】 資料をコピーして配付する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋文学		通 期	4 単位	本 多 雄一郎
【講義概要・学習目標】 文学作品は、作家の手を介するだけでなく、読者によってその存在は無きに等しい。近年の文学理論においては、読者や作品の意味を追究すると考えられ、作品と読者との関わりが重要視されている。皆さんは、まさにその読者という立場にあるわけであり、西洋文学を読み解いていく上で必要な力があり、基礎的な知識を紹介するのが目標である。そのために、西洋文学を代表する個別の作品（フランス文学を主とする）に触れつつ、それらが提示する問題や思想について論じていく。	【講義計画】 前・後期を通して、西洋文学の思潮の変遷、社会的背景や個々の作品が提示する問題について資料を通して検討・解説していく。			
【成績評価の方法】 授業への参加度とレポートで評価する。	【参考文献】 適時指示する。			
【教科書】 講義の際に資料を配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋社会史 (旧社会学科概論Ⅰ)		通 期	4 単位	山 田 義 顕
〔講義概要・学習目標〕 ヨーロッパの諸問題を中心に講義する。まず、「社会史」とは何かを述べた後、いくつかのテーマを設定して、それぞれ2～3回で論じる。テーマによっては、中世から現代まで及ぶ場合があるので、時代順の講義とならない点に注意してもらいたい。 講義を通して、歴史とはこのような見方もあるのだということを感じてもらえればと思う。 なお、講義のさいにミニ・レポートを課することがある。質問・疑問などを書いてもらい、それにもとづいてさらに講義を進めることにしたい。	〔講義計画〕 主なテーマ ①「社会史」とは何か：歴史に対するいくつかのアプローチの仕方を紹介したうえで、「社会史」の意味を考える。 ②都市：都市の役割・機能は、時代によってどのように変化したのか。人間にとって都市とはどのような意味を持ったのか。古代の都市国家（ポリス）、中世都市、近代都市を比較検討する。 ③病気（ペスト）：中世後期から19世紀まで、ヨーロッパ社会は断続的にペスト（黒死病）に悩まされた。このペストが社会に与えた影響について考える。 ④差別（魔女）：魔女とは何か。魔女はなぜヨーロッパ特有の現象だったのか。 ⑤差別（黒人奴隷）：奴隷貿易の成立と人種差別の関係について論じる。 ⑥スポーツ：人間は時代により、また場所により、さまざまなスポーツを楽しんできた。スポーツと社会のかかわりを取りあげる ⑦食物：未知の食物の発見は、ヨーロッパ人の嗜好にどのような変化をもたらしたのか。「食卓革命」という視点から考える。			
〔成績評価の方法〕 出席と、レポートもしくは 試験によって評価する	〔参考文献〕 講義中に必要に応じて指示する。			
〔教科書〕 なし。講義のさいに、プリントを配布する				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
社会思想 (旧社会科学概論Ⅱ)		通 期	4 単位	坂 昌 樹
〔講義概要・学習目標〕 社会的存在である人間は、少しでも住みよい社会を実現するためにさまざまな考えを提案してきました。なかでもヨーロッパ近代には、既存の体制を転覆する革命的思想から逆にそれを正当化する保守的思想まで、歴史的状況に応じて諸説が論じられています。これらの諸思想は、現代のわれわれの社会のあり方をも規定している点で重要です。この講義ではそれらの思想の代表的なものを、それぞれの社会状況との関連でかいま見ようと思います。 学習の重点は、日本人の考え方との違いを確認することにあります。思想といえは抽象的で難解な内容になりがちですが、なるべくわかりやすく、ゆっくり進めていきたいと思います。理解を深めるために、コロキウム（質疑応答）をおこなうこともあります。	〔講義計画〕 Ⅰ．導入：社会思想とはなにか Ⅱ．ヨーロッパ思想の根元：形而上学、キリスト教的世界観 Ⅲ．個人主義の確立：キリスト教による個人の析出、マキアヴェッリ、ルター Ⅳ．近代国家の構想：ホッブズ、ロック、ルソー、(カント) Ⅴ．市民社会の秩序：スミス、(J.S. ミル) Ⅵ．(近代市民社会批判：マルクス、女性解放思想) ただし講義の進捗状況によっては、上記（ ）つきの思想家や思想を省略することがあります。			
〔成績評価の方法〕 学期末試験を中心に、授業中におこなう質疑応答もふくめて、総合的に評価します。	〔参考文献〕 必要があれば、講義中に指示します。			
〔教科書〕 指定しません。重要なテキストは、担当教員がプリントとして配布します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代思想		通 期	4 単位	岩 津 洋 二
〔講義概要・学習目標〕 私たちは人生の途上でさまざまな恐怖に遭遇する。地震を怖がり、お化けを怖がり、友達から嫌われるのが怖がる。すこしふりかえてみると、じつにさまざまな恐怖が私たちの生活につきまとい、恐怖ゆえに、私たちはしたいことを思い止まり、したくないことをあえておこなっている。しかし、私たちの行動の決定にかくも深くかかわっている恐怖がどのようなものであるかについて正しく認識している人は少ない。 この講義は、哲学のみならず、心理学・生理学・民族学・民俗学などの視点から、恐怖を解明し、その作業をとおして、恐怖にとらわれている自分を見つめなおし、恐怖から自分を解放し、より自由になるための手がかりをさぐるという実践的な課題を追求する。恐怖とはなにかを明らかにすることによって、世界と自分自身を再発見する試みでもある。	〔講義計画〕 1. なぜ恐怖を問題とするのか 2. 恐怖の諸相－恐怖の分類 3. 近代社会における恐怖のとらえ方 4. 恐怖の心理＝生理学 5. 恐怖の過剰性 6. 対人恐怖症と日本文化 7. 恐怖としての和合 8. 日本の伝統的恐怖対象 9. 未開の恐怖と近代の恐怖 10. 恐怖の利用 11. 集合的恐怖 12. 恐怖の愛好 13. 恐怖への対処の仕方			
〔成績評価の方法〕 何回かのレポートと学年末の試験による。	〔参考文献〕 授業中に指示する。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本近代思想史		通 期	4 単位	三 宅 正 彦
[講義概要・学習目標] 通常、近代とは明治～第二次大戦中まで、現代とは戦後～現在までを指す。この講義では日本近代の思想を日本の歴史的 位置付け、家、天皇制、アジア観などをポイントとして、問題史的に追究する。	[講義計画] 1. 日本の歴史的 位置付け(丸山真男『日本政治思想史研究』など) 2. 家(柳田国男『先祖の話』など) 3. 天皇制(美濃部達吉『憲法撮要』、上杉慎吉『憲法述義』など) 4. アジア観(津田左右吉『シナ思想と日本』など)			
[成績評価の方法] 期末試験。(講義に欠かさず出席して内容の理解に努めていれば単位取得は容易。欠席が多ければ困難)	[参考文献]			
[教科書] 資料を西配布する。ただし、西配布時に出席している人に1回限りで交付する。そのとき欠席した人に対する追加西配布や持参することを忘れた人に対する再西配布は行わない。毎時資料を参照しなければ講義の理解は困難になる。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スポーツ文化論 (旧身体文化論)		通 期	4単位	松 浦 道 夫
〔講義概要・学習目標〕 まず、現代社会の特徴と体育・スポーツの発展、関係を概観します。そして背景の思想・精神・文化を知り、スポーツとの関連を考察します。とくに日米英の文化をスポーツを通して比較してみます。いいかえれば、スポーツ文化論を通して、集団としての人間、社会を理解することをねらっています。	〔講義計画〕 <前期> 1. 現代の体育・スポーツ 2. 近代イギリススポーツと社交の精神 3. イギリスのギャンブル精神とスポーツ <後期> 4. アメリカスポーツとメンバーチェンジの思想 5. 近代日本のスポーツと勝敗感 6. 国際化と日本的スポーツの変化			
〔成績評価の方法〕 適宜エッセイを課し、学年末テストと合わせて評価します。	〔参考文献〕 授業の進行に合わせて知らせます。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化論		通 期	4単位	村 上 昌 孝
〔講義概要・学習目標〕 ある文化圏で生み出された文物が他の文化圏に伝えられる場合、それぞれの文化にふさわしいものに作り替えられるのが常である。異文化の受容と変形の問題を考える材料として、インド説話を取り上げる。インド説話は、仏教説話の漢訳を通じて日本に伝えられた。その一方、インドで制作された物語集がイスラム圏で翻訳され、ヨーロッパに伝えられることにより、これらの地域の説話・伝承に大きな影響を与えている。この講義では、インド説話が東西に伝播する際、どのような変化がなされたのかを学習することを目標とする。	〔講義計画〕 インド説話に関する概説の後、まず、東方への伝播の具体例を検討していく。インド説話が仏教を説き明かすための例え話として取り入れられた際にも、仏教の教理に即した変化が施されているのはもちろんのことだが、これが中国・日本へと伝承されていく過程で、それぞれの文化に適合するように、更なる変化が施された。同系統の説話の、インド・中国・日本での伝承の違いを比較する。ついで、西方への伝播に関しても同様の検討を行うこととする。			
〔成績評価の方法〕 平常点とレポートによる。	〔参考文献〕 岩本裕『仏教説話の源流と展開』，東京，1978.			
〔教科書〕 講義の際に資料を配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
部落問題論 (旧部落問題研究)		通 期	4 単位	黒 田 伊 彦
〔講義概要・学習目標〕 部落解放運動の展開によって劣悪な生活実態は改善されつつある。だが未だに部落への差別の根差しは解消されていない。解放教育や社会啓発が広く行われてきたが、差別事象は跡を絶たない。「なぜか？」部落への差別の基礎にある穢れ意識と天皇制の関係。それとの闘いを通じて部落解放の主体形成を跡づけ、部落解放理論の論争点を検討して、部落解放のあり方を考察する。 映像資料を多く用いる、その時は簡単な感想文を課す。 夏期休暇中に大阪人権博物館、奈良の水平社博物館、堺の船松歴史資料館、岡山の洪染一揆資料館、福山市人権平和資料館、三重人権センター、福岡県人権啓発センター等々各地の人権博物館の見学学習しその報告レポートを課す。 これらの学習を通じて、部落問題を日本の歴史と文化の中に位置づけ、日本の歴史や文化の構造を逆照射する視点の確立を期したい。 更に部落低位性論、部落悲惨史論を克服し「人間は尊敬すべき存在である」という全国水平社宣言の思想の体得に努めたい。		〔講義計画〕 I 部落差別と天皇制 1. 穢れと世間体、戸籍制度と天皇制 2. 西光万吉と皇産主義 3. 神武天皇陵拡張と洞部落の強制移転 4. 別府の々浜部落焼打事件と解放歌 5. 福岡連隊爆破陰謀事件の真相と松本治一郎の闘い 6. 全国水平社と侵略戦争－世界の水平運動 7. 旧「満州」移民と来民開拓団の集団自決の悲劇 8. 現代の天皇制と部落差別－聖と賤の対立意識 II 狭山事件と部落問題 1. 狭山事件の内容・性格と部落解放運動 2. 狭山事件の模擬陪審裁判 III 同和行政の歩みと街づくり 1. オールロマンス事件と同和行政の全国化と変容 2. 阪神・淡路大震災と被差別部落・自立と共生の街づくり IV 部落問題の論争について 1. 部落の近世政治起源説批判をめぐって 2. 部落民からの解放か部落民としての解放か －部落の共同幻想と部落民としてのアイデンティティー－		
〔成績評価の方法〕 前・後期のテストとレポート及び出席点で総合的に評価する。 大阪人権博物館等、各地の人権博物館の見学学習レポートを課す。 出席を重んじる。		〔参考文献〕 黒田 伊彦（著） 『改訂 部落問題学習 16 講』 （柘植書房新社） 八木 晃介（著） 『部落差別論』 （批評社） 藤田 敬一・師岡 佑行（編） 『部落史を読む』 （阿吽社） キムチョンミ（著） 『水平運動史研究－民族差別批判－』 （現代企画室） （金 静美）		
〔教科書〕 黒田 伊彦（著）『部落史紀行』（柘植書房新社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本社会史		通 期	4 単位	生 瀬 克 己
〔講義概要・学習目標〕 私たちの祖先を具体的にたどりうるのは、江戸時代の初期か戦国時代までがせいぜいである。けれども、江戸期における幕藩社会の成立は、わが国の歴史を考えるうえで、決定的に重要である。第一には、夫婦とその子どもという現代の家族とほぼ変わらない形態で暮らしはじめるのもこの時代であるし、穀物の増産や防災のための治山治水（国土開発）がなされるのもこの時代である。 このようにして、人びとの「豊かさ」をめざした努力のうえにたつて「近代社会」を迎えることになる。欧米列強からの圧力のなかでの「近代社会」をめざしての努力は、そこで暮らす民衆にとっては、どのようなものであったのか。結果としては、いわゆる「戦争の時代」へとつながってしまうのであるが、そのような時代における庶民生活に特徴的なところを考えていくことにしたい。		〔講義計画〕 1) 国土利用の時代と庶民生活 2) 近代社会の成立とその特質 3) 工業化の過程と民衆 4) 戦争の時代と傷痍軍人 5) まとめ		
〔成績評価の方法〕 学期末に実施する「論述式筆記試験（60％）」と、講義期間中に数回は実施する予定の「レポート（40％）」の合計で評価する。		〔参考文献〕 必要に応じて指定します。		
〔教科書〕 特には指定しません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
民俗学		前期集中	4 単位	橋 内 武
〔講義概要・学習目標〕 庶民の伝承文化を観察・記述するのが民俗学である。本講では、まず民俗学とは何かという問いに答えたと、さまざまな伝承文化について解説する。究極的には伝承文化への興味と関心を抱いて、履修生諸君が自ら身近な民俗事象への考察を進めることができるようになることをその学習目標とする。	〔講義計画〕 1. 民俗学とは何か ― 民俗学の課題と方法 2. 人生儀礼 ― 誕生から葬送まで 3. 年中儀礼 ― 盆と正月 4. 俗信 ― 予兆・ト占・禁忌・呪術 5. 昔話 ― タイプと研究方法			
〔成績評価の方法〕 期末試験による。	〔参考文献〕 上野和男ほか、『新版 民俗調査ハンドブック』、吉川弘文館、1987。 福田アジオほか編、『日本民俗大辞典』（上・下）、吉川弘文館、1999。			
〔教科書〕 稲田浩二・稲田和子、『日本昔話100選』、講談社、1996。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
憲法		通 期	4 単位	前田 徹生
〔講義概要・学習目標〕 A子さんは学校の方針に反して私服通学を続けていたことから、内申書の総合所見欄にどう書かれているのか関心があつた。公立高校への受験を控えたA子さんはB市の個人情報保護条例に基づいて開示請求を求めたが、B市側はこれを拒否する決定を下した。Aさんは決定の取り消しを求めて裁判所に訴えた。さて、君が裁判長であつたら、どういう判断を下すだろうか。 憲法学（法学）を学ぶことの意義は「リーガル・マインド」を養うことにある。それはこうした対立する諸利益や価値とを比較衡量し、法に則りながら一定の結論を導き出す論理的思考能力を養うことにある。	〔講義計画〕 1) 日本国憲法成立史 2) 基本的人権の享有主体 3) 基本的人権の私人間効力 4) 法の下での平等 5) 個人の尊重と幸福追求権 6) 信教の自由・政教分離の原則 7) 学問の自由 8) 表現の自由 9) 職業選択の自由 10) 被疑者・被告人の権利 11) 生存権 13) 労働基本権 14) 第九条の起源 15) 平和主義 16) 安保体制 17) 国会の地位と権能 18) 内閣制度とその権限 19) 裁判所の組織と権限 20) 違憲審査制 21) 憲法訴訟 22) 地方自治			
〔成績評価の方法〕 前期・後期の2回の試験および時々の出席点で判断する。	〔参考文献〕 佐藤 功『日本国憲法概説』（全訂第五版）学陽書房 樋口陽一『憲法入門』勁草書房 芦部信喜『憲法』岩波書店 佐藤幸治『憲法』（第三版）青林書院			
〔教科書〕 中谷実編『ハイブリッド憲法』勁草書房				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（韓国・朝鮮文化） （旧韓国・朝鮮文化研究Ⅱ）		通 期	4 単位	チョン ソンヒ 田 星 姫
〔講義概要・学習目標〕 現代の韓国・朝鮮人の精神・生活の基本をなしている事柄を取り上げ、その歴史的背景を理解するとともに、韓国の歴史や地理に関する基本的な知識を習得する。 韓国・朝鮮文化の伝統的文化や生活スタイルと思われるものの多くは、16世紀以降にはじめて形成されたものであるが、それが社会全体に普及していくのは18世紀以降のことである。授業では、主に朝鮮時代を扱うが、現代韓国の社会や生活もあわせて紹介したい。視聴覚教材を使用。	〔講義計画〕 1 朝鮮という名称について 2 領土の変遷 3 ハングル文字と世宗時代 4 生活文化（衣服） 5 生活文化（食生活） 6 生活文化（住まい） 7 教育・身分制度 8 年中行事 9 朝鮮時代における女性の生活 10 壬辰倭乱（文禄・慶長の役） 11 近世の日朝友好関係（朝鮮通信使） 12 朝鮮時代の日本に対する認識 13 英祖・正祖時代と現代 14 実学の風潮 15 パンソリの歴史（伝統芸能）等々。			
〔成績評価の方法〕 期末試験とレポート評価。	〔参考文献〕 伊藤亜人他編『朝鮮を知る事典』平凡社 『韓国小学校歴史地図帳』 石渡延男他訳『入門韓国の歴史』（国定韓国中学校国史教科書）明石書店 その他、授業中、紹介する。			
〔教科書〕 『朝鮮王朝常識旅行』（印刷教材・田星姫訳）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文学概論		通 期	4 単位	和 栗 了
〔講義概要・学習目標〕 文学とは何かという問いに対してひとつの解答を出すために、作品をこまかく、正確に、かつ想像力豊かに読む方法を講義する。文学とは言語による表現に依存しながらも言語では表現できないものを伝えようとするものである。この決定的な逆説のなかで読む行為をしなければならない読者には、必然的に読む技術が求められる。すぐれた文学作品とは個々の真理を表現するために最良の方法を選択したものだとすれば、表現されていないものを求めて言語表現を詳細に検討することが真理探究への道である。作者の選んだ言語表現を前にして、沈黙の言葉を読み取る方法を伝える。 この授業の目的は、文学作品をどのように読むべきか、その方法を各自で発見することである。	〔講義計画〕 第1回目の授業で詳しいシラバス等を配布します。			
〔成績評価の方法〕 出席とレポートによる。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 第1回目の授業で指示します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文学		通 期	4 単位	赤 瀬 雅 子
〔講義概要・学習目標〕 近年、わが国では比較文学研究がますます盛んになってきた。比較文学は今世紀のはじめ、フランスにおいて始まった学問である。そして1960年代にひとつの頂点に達したものである。 この学問は文学研究の一方法であり、その意味では、例えばフランス文学研究等と同質のものであった。加えて同時代の外国文学の深い影響を考察するものであることが、厳守され、それに反する研究は比較文学とは見なされなかった。また古典の比較文学的研究も歓迎されなかった。 このような多くの制約から自由になろうとして起こったのがアメリカを中心とした対比的研究方法である。この方法から派生した比較文学と平行して比較文化を考察しようとする方法は意外な成果を生み、わが国においても比較文学・比較文化の研究が主流となってきた。 基本のアカデミックな比較文学の方法を紹介しながら、新しい対比研究の方法をも具体的に考察する。なお学会の先端で行われている影響研究と対比研究を併用した方法にも無理のない範囲で触れてゆきたい。		〔講義計画〕 現在、わが国の多くの大学で比較文学の講義を担当している多くの研究者が大学生のために書き下ろした数編ないし十数編の論文に触れながら、比較文学・比較文化を学ぶ楽しさを引き出して行く。コスモポリタンなものの考え方をすることの大切さを常に意識したい。		
〔成績評価の方法〕 前期末に提出するレポートと、学年末の試験とのふたつが重要であるので、どちらも欠かさないようにしていただきたい。出席率をよくすることも大切である。成績評価はそれらの総合によってなされるものである。		〔参考文献〕 富田仁・赤瀬雅子著『明治のフランス文学』（駿河台出版社）		
〔教科書〕 松村昌家編『比較文学を学ぶ人のために』（世界思想社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教史		通 期	4 単位	伊 藤 高 章
〔講義概要・学習目標〕 ヨーロッパ宗教改革に対するカトリック側の反宗教改革運動の中で成立したイエズス会、及びイエズス会士フランシスコ・ザビエルの活動を手がかりに、近世のキリスト教の歴史を広く学ぶ。またこの時代の西ヨーロッパの国際関係、海外貿易、帝国主義的な進出にも言及し、教会の側からみた教会の歴史ではなく、人類の歴史におけるキリスト教の動きに注目する。 キリスト教とアジア文化、特に日本の文化との接触の問題もとりあげる。		〔講義計画〕		
〔成績評価の方法〕 前期提出のブックレポート 2～3本 夏期休暇中に作成する小論文 後期授業における研究発表		〔参考文献〕 フランシスコ・デ・ザビエル 『聖フランシスコ・デ・ザビエル書翰抄』 上・下、 （岩波文庫 青 818-1・2） イグナチオ・デ・ロヨラ 『靈操』 （岩波文庫 青 820-1） 『ある巡礼者の物語』 （岩波文庫 青 820-2）		
〔教科書〕 フィリップ・レクリヴァン『イエズス会』（「知の再発見」双書 53） 創元社 1996 年 遠藤周作『沈黙』				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
聖書研究		通 期	4 単位	滝 澤 武 人
〔講義概要・学習目標〕 キリスト教の根本経典である『聖書』、特に「旧約聖書」をできるだけ多く読むことがこの講義の目標である。もちろん、大学という場においては、理性的・学問的な研究成果を土台とすることになるので、「信仰」の有無などは全く関係なく受講できる。教養としてぜひ『聖書』に親しんでもらいたい。 いわゆる『聖書』には「旧約聖書」（39巻）と「新約聖書」（27巻）合計66巻のさまざまな時代のさまざまな文書が含まれている。それらは古代ユダヤ民族が残した人類全体にとって重要な知的遺産・世界の古典中の古典であり、今日においてもなお文学・美術・歴史・思想・宗教などに新鮮な光を投げかけている。	〔講義計画〕 前期に「創世記」「出エジプト記」、後期に「雅歌」「ヨブ記」などを主として読み進める予定である。人数にもよるが、皆でテキストを読みあい感想を纏めてもらう。真面目な学生諸君のねばり強い努力に期待している。			
〔成績評価の方法〕 試験・レポート・出席・受講姿勢などを総合的に評価する。	〔参考文献〕 AERA Mook 『旧約聖書がわかる。』（朝日新聞社）			
〔教科書〕 新共同訳『聖書』（日本聖書協会） （旧約聖書を含んだものを準備し、授業時には必ず毎時間持参すること。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学社会学 (旧自然科学概論)		通 期	4 単位	後 藤 邦 夫
〔講義概要・学習目標〕 かつて、科学の研究は少数の研究者の個人的活動によって担われていたが、ある時期から多様な社会システムの活動の所産となった。そのなかで、研究者の集団の性格や行動に注目し、知識社会学の手法による「科学者集団の社会学的研究」が始まった。これが狭義の科学社会学であり、いわゆる知識社会学の系譜に属する。しかし、19世紀末以来、国家や企業と科学技術との関連が重要になり科学者集団の性格も複雑になってきた。そして、科学技術の多様な社会的側面を扱う広義の科学社会学が成立する。この講義では「科学」と「技術」を一体のものとしてとらえ、ひろく「科学技術の社会学的研究」として扱う。このような広義の科学社会学的研究の本格的な展開は、第二次大戦後、とくに1970年代以降である。核問題、環境問題等を通じて、科学技術の社会的意味が問われ、「科学的真理」や「技術進歩」に対しても根本的な検討が必要になったからである。それらの現代的トピックも出来るかぎり扱う。	〔講義計画〕 前期：科学社会学、すなわち科学技術の社会学的研究の系譜と方法 1930年代のマートン、パナール、マルクーゼ、から今日の社会的構成主義にいたる研究の流れを追いながら、主な論点と方法を講義する。 後期：現代の科学技術の科学社会学的研究 主に、第二次大戦後のさまざまな話題を扱う。とくに、1990年代以降、冷戦の終結によって新たな課題が生まれてきた。それらの課題についても解説する予定である。			
〔成績評価の方法〕 1) 講義した内容についての試験を行う。 2) レポートを課し、その内容をも若干考慮する。	〔参考文献〕 受講生に配布し、授業中に指示する。 たい、そのものは読んでおくことが望ましい。 トマス・クーン「科学革命の構造」(中山京訳) みすず書房			
〔教科書〕 (使用しない。必要に応じてプリント等を配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
工学概論		通 期	4 単位	坂 本 勇
[講義概要・学習目標]		[講義計画]		
現代の技術は広い領域における体系的なもので、大規模システムのもとになり、最適性と現実について管理されているものの内題が生きている。構造の巨大化は予想を超える性能と用途との係りの関係に未知の部分を増やすことになる。設計の立場より未知の位相について考える。		1. 日本の技術教育 2. 人工システム 3. 設計と総合 4. 情報のフィードバック 5. 設計と文化		
[成績評価の方法]		[参考文献]		
レポート		尚書等に指示あり		
[教科書]				
なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済数学		通 期	4 単位	安 藤 洋 美
【講義概要・学習目標】 経済学に数学が使われたのはとても古く、18世紀のダニエル・ベルヌイに溯る。それ以後、19世紀の中頃、クールノーによって『富の理論の数学的原理に関する研究』が出版されて以来、急速に経済学の諸概念を数学的に表現することが市民権を得た。この講義では、経済学の内容のいくつかを、日常言語でなく、数式で簡潔に表現すること；経済現象のモデルの表現と解析の手段として、微積分を利用することを理解させたい。もっと端的に言えば、極値問題、特に条件付極値問題を解くことを中心に説明したい。教科書は使用しないので、よく講義を聴くこと。	【講義計画】 ＜前期＞1変数の微分法（経済学に出てくる諸関数とその限界量など） 多変数の微分法（生産の均衡、消費の均衡） ＜後期＞微分方程式（所得変動、成長理論など） 確率微分方程式（ブラウン運動と株価変動など）			
【成績評価の方法】 前期と後期の最後の時間に試験して評価する。	【参考文献】			
【教科書】 教科書は使用せず、毎回プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学技術史 (旧科学史)		通期	4 単位	松永 俊男
〔講義概要・学習目標〕 前期に西洋科学史の概略を講義し、後期に日本における西洋近代科学の受容について述べる。 西洋科学の源流は古代ギリシアにある。前期の講義では、まずギリシアで科学的精神が生まれた経過を探求し、ついでギリシア科学がイスラム文化圏で受け継がれ、発展した経過について述べる。前期の後半は、イスラム文化の導入により、やがてヨーロッパで科学革命が起こり、近代科学が発展していった経過を追う。 後期はまず、江戸時代中期からオランダ語、あるいは中国語を介して西洋の科学が日本に導入されていった経過を、特定の人物に焦点を当てて考えていく。後期の後半も、特定の人物に焦点を当てながら、幕末から明治初期にかけて、日本の近代化のなかで西洋科学がいかに導入されていったかを述べる。		〔講義計画〕 前期 1. 古代ギリシアの科学 2. イスラムの科学 3. 17世紀の科学革命 4. 19世紀の科学 5. 20世紀の科学 後期 1. 伊能忠敬 2. 緒方洪庵 3. 福沢諭吉 4. 南方熊楠 5. 野口英世		
〔成績評価の方法〕 受講生は多くないと予想されるので、平常点のみで評価する予定。出席を重視するので、最初の授業を含めて前期に5回以上欠席した者は、理由の如何を問わず除籍する。		〔参考文献〕		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人 間 工 学 概 論		通 期	4 単位	三 戸 秀 樹
〔講義概要・学習目標〕 人間と機械のかかわりは古い、この人間と機械の関係から発生した人間工学に関する基礎的理解を深め、今後の人間と機械の関係のあり方について言及する。近年の機械系、とくにコンピュータリゼーションの進歩にともなう、人間らしい“人間－機械”の関係が実現しつつある反面、労働場面では、非人間的な“人間－機械”の関係が観察される。この非人間的側面は、かつて労働にあった「働きがい」をも失わせる要素を有しはじめている。さらに、一部では産業ストレス時代ともいわれ、真に人間中心的な視点に基づいた人間工学導入が緊要である。 単なる既存知識の習得に主眼をおくのではなく、働く人々の個々のおかれて いる状況・状態にたえず疑問を発しながら、「どうしてそうなのか」「どうす れば良くなるのか」を、人間工学的に考える姿勢を重視する。人間を中心にす えた視点から人間工学の基本を学びとって欲しい。	〔講義計画〕 <前 期> (1)はじめに 人間工学の定義、労働態様の変化、 (2)人間特性 生体次元、感覚入力系、覚醒水準、生体リズム、反応特性、性差、 疲労、蓄積性疲労、 <後 期> (3)人間と機械 マン・マシン・インタフェース、頸肩腕障害、振動障害、VDT作業、 テクノストレス、 (4)応用人間工学 立ち作業、障害者、二次的障害、高齢化、安全人間工学、交通科学、 (5)労働の快適化 労働の人間化、ゆとり、人間工学専門家資格、			
〔成績評価の方法〕 テストとレポートを予定。	〔参考文献〕 労働と健康の科学研究会(編)「労働と健康の科学」(労働経済社) 三戸秀樹ほか(著)「安全の行動科学」(学文社) 千田忠男ほか(著)「労働科学論入門」(北大路書房)			
〔教科書〕 テキストは使用しない。 プリントを配布します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学思想史		通期	4 単位	松永 俊男
〔講義概要・学習目標〕 科学とキリスト教の関係について講義する。 1 7 世紀に成立した西洋近代科学は、神に由来する自然の秩序を見いだすことを目的にしていた。科学研究はキリスト教に奉仕するものだった。ところが、1 9 世紀に科学と宗教の調和が崩れ、科学は宗教から分離していった。 講義では、ガリレオ、ニュートン、あるいはダーウィンらの科学がキリスト教信仰と結びついていたことを明らかにし、それにもかかわらず、なぜ科学と宗教が対立すると思われるのかについて考察する。		〔講義計画〕 前期 1. 宇宙観の変遷 2. コペルニクスの信仰と科学 3. ガリレオの信仰と科学 4. ニュートンの信仰と科学 5. イギリス自然神学の成立 後期 1. ビクトリア朝の信仰と科学 2. 化石の変遷の解釈と教会 3. 進化論とキリスト教 4. 科学と宗教の闘争史観の成立 5. 科学と宗教の闘争史観の否定		
〔成績評価の方法〕 原則として、毎回の授業の最後に小テストを実施する。これが一定の水準に達しなければ、出席率が良くても不合格とする。また、最初の授業を含めて、前期に 5 回以上欠席した者は、理由の如何を問わず除籍する。		〔参考文献〕 松永俊男（著）『ダーウィンの時代－科学と宗教』（名古屋大学出版会）		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅰ（泉州の今昔Ⅰ）		前 期	2 単位	深 澤 徹
〔講義概要・学習目標〕 泉州の今昔Ⅰは主に「歴史文化」篇である。桃山学院大学の立地する泉州地区に関して、その歴史と文化を概観する。なお総合講座であるので、毎回講師が変わり、それぞれのフィールドに基づいて講義がなされる。	〔講義計画〕 講義の最初に講師の顔ぶれと講義内容についての予定表を配布する。			
〔成績評価の方法〕 毎回出席を取るなのでその出席状況、及び学期末に試験を行い、総合的に評価する。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 特に定めない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅰ（泉州の今昔Ⅱ）		後 期	2 単位	深 澤 徹
[講義概要・学習目標] 泉州の今昔Ⅱは主に「産業社会」篇である。桃山学院大学の立地する泉州地区に関して、その産業と社会を概観する。なお総合講座であるので、毎回講師が変わり、それぞれのフィールドに基づいて講義がなされる。	[講義計画] 講義の最初に講師の顔ぶれと講義内容についての予定表を配布する。			
[成績評価の方法] 毎回出席を取るなのでその出席状況、及び学期末に試験を行い、総合的に評価する。	[参考文献]			
[教科書] 特に定めない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																
総合講座Ⅰ (ITの活用の実際)		前 期	2 単位	藤間 真																
[講義概要・学習目標] 新聞・雑誌にURL(いわゆるホームページアドレス)が掲載されない日が無く なったことからわかるように、IT(Information Technology)は私たちの社会 に深く根付いている。 本講義では、各業種で第一線でITを活用している現場の皆さんに来ていた いで、最先端の企業の活用状況を話していただく。 また、余裕があればどのような人材がIT技術の現場で必要なのか、大学で どのような勉強をすることを企業側が望むのかについてもお話いただけるよう お願いしている。	[講義計画] 1回目にオリエンテーション及び基礎知識の講義を行う。講義に関する詳細も そこで提示するので、出席した上で履修するかどうかを決められたい。 2回目以降に予定している内容は下記のとおりである。(順不同) <table><tr><th>招聘元企業</th><th>予定題目</th></tr><tr><td>ダイキン工業</td><td>「企業経営とIT」</td></tr><tr><td>シャープ</td><td>「SCMの実例」</td></tr><tr><td>鐘淵化学工業</td><td>「情報システム現場の問題と今後」</td></tr><tr><td>ニフティ</td><td>「インターネットの今後」</td></tr><tr><td>ダイエー</td><td>「流通業の世界のトレンド」</td></tr><tr><td>武田薬品工業</td><td>「情報システムの開発の方向性」</td></tr><tr><td>大阪瓦斯</td><td>「公共事業の情報システム」</td></tr></table> 尚、本学からは経営学部の井上教授と藤間がそれぞれ講義を行う。				招聘元企業	予定題目	ダイキン工業	「企業経営とIT」	シャープ	「SCMの実例」	鐘淵化学工業	「情報システム現場の問題と今後」	ニフティ	「インターネットの今後」	ダイエー	「流通業の世界のトレンド」	武田薬品工業	「情報システムの開発の方向性」	大阪瓦斯	「公共事業の情報システム」
招聘元企業	予定題目																			
ダイキン工業	「企業経営とIT」																			
シャープ	「SCMの実例」																			
鐘淵化学工業	「情報システム現場の問題と今後」																			
ニフティ	「インターネットの今後」																			
ダイエー	「流通業の世界のトレンド」																			
武田薬品工業	「情報システムの開発の方向性」																			
大阪瓦斯	「公共事業の情報システム」																			
[成績評価の方法] 毎回の出席・受講態度及び最終レポートに基づき総合的に評価する。	[参考文献] 講義中に指示する。																			
[教科書]																				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅰ (スポーツと人物・人生(1))		前 期	2単位	松 浦 道 夫
〔講義概要・学習目標〕 スポーツが大きな社会現象となって久しく、益ます多様化し発展しています。そこにはスポーツで成長し、スポーツにかけることによって夢を追い、生き、スポーツや社会に影響を与えた人びとがいます。スポーツは趣味や健康、教育や政治、職業や経済あるいは思想や文化の分野に関連してきました。そこでスポーツと人生、人物のテーマで、担当者の関心ある人物を取り上げて語ってもらいます。	〔講義計画〕 1回目の講義で、ガイダンスをします。各担当者の紹介とそれぞれのテーマを知らせます。12～13回で1人1～2回の担当予定です。			
〔成績評価の方法〕 テーマごとのエッセイと最終講義日のテストで評価します。	〔参考文献〕 授業中にそれぞれ担当者が知らせます。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅰ (スポーツと人物・人生(2))		後 期	2単位	松 浦 道 夫
〔講義概要・学習目標〕 前期と同様のねらいで、諸外国とくにアメリカやヨーロッパの人物とその人を取り巻く人びとを中心に語ってもらいます。その人物の生きた時代、文化、社会、その人の思想や行動、人生観などから、みなさんに生きるヒントが与えられればと願っています。	〔講義計画〕 1回目の講義で、ガイダンスをします。各担当者の紹介とそれぞれのテーマを知らせます。12～13回、1人1～2回の担当予定です。			
〔成績評価の方法〕 テーマごとのエッセイと最終講義日のテストで評価します。	〔参考文献〕 授業中にそれぞれ担当者が知らせます。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅱ (地域の歴史と文化財保存)		通 期	4 単位	佐賀 朝
[講義概要・学習目標] 歴史を学ぶことは楽しい。しかし、「歴史は暗記物」とか、「歴史は藤原氏や信長・秀吉のような偉人がつくるもの」とか、「文化財」というのは立派なお寺や神社にだけあるもの」といった誤解は根深い。 そうではない。歴史は、私たちの日々の生活や身近なところで起こっている出来事の積み重ねのなかからつくられていくのだ。そうした身近な世界の歴史を、さまざまな材料を使って調べ、そこから社会の成り立ちや私たちの課題を見極めていくことが「歴史を学ぶ」ということなのだ。そして、そのようにして歴史を学ぶことのできる材料が、史料であり文化財なのだ。 この講義では、①私たちが日々暮らし、働き、そして学んでいる地域には、こうした史料＝文化財がどのような形であるのか、②地域に残されたさまざまな史料＝文化財から、どのような地域の歴史が明らかになるのか、③地域の文化財を保存することには、どんな意味があるのか、について考えたい。 具体的には、各分野で地域の歴史研究や史料の保存に携わっている専門家を招いてリレー講義の形で論じる。講義のなかで取り上げる具体的な地域としては、大学のある和泉地域をはじめ、近畿地方を中心とする。	[講義計画] (前期) 文化財保存各論 考古学における資料／埋蔵文化財の調査／埋蔵文化財の保存と破壊 中世荘園の世界／絵図から読みとる荘園世界／荘園景観の保存 阪神淡路大震災と文化財保存／住民参加の自治体史 地域文書館の活動／文化財保存運動の歴史 ほか (後期) 和泉市の地域史と文化財 池上・曽根遺跡／古墳の造営／古代窯業地域・陶邑（すえむら） 自治体史の編さんと史料保存／地域の歴史的総合調査研究 松尾寺地域の歴史／古文書からわかる江戸時代の村 聞き取りで再構成する地域の近代史／地域に残る戦争遺跡 ほか			
[成績評価の方法] 出席、各講師による小テスト・レポートなどを総合的に評価する。	[参考文献] 講義のなかで各講師が随時、提示する。			
[教科書] 各講師がプリント等を配付する。	◆注意事項◆ 1999年度の総合講座Ⅰ 地域の歴史と文化財保存 1（前期）と同 2（後期）のいずれかをすでに受講した者は、内容に重複があるため、原則として本講義を受講することは避けるように。			

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
総合講座Ⅱ (多文化共生社会)		通 期	4 単位	遠 山 淳
[講義概要・学習目標] 20世紀は国家という概念の普及とともに、民族の生存をかけて激動した。民族の統合と分化の世紀でもあった。その鍵概念は民族と文化。 本講座では、世界に存在する多文化社会を知り、現在の日本が、例外的に単一文化的要素が極めて濃い、むしろ少数派国家であることを学ぶ。 また、国家の形成と民族関係、文化の形成についても講じるが、世界の中から、いくつかの国家・社会を選び、それらの地域における多民族・多文化と共生の現状と展望について考察する。21世紀における多文化共生社会の有り様を、日本と世界に求め、また、民族紛争と調停機関である国連や国際機構の機能と展望についても講じる。	[講義計画] - はじめに：現代世界の現状と展望（順不同） - 国連および国際機構の機能と展望 - 多文化社会の現状～各論研究：英国の場合 - 各論研究：アメリカ合衆国の場合 - 各論研究：カナダの場合 - 各論研究：オーストラリアの場合 - 各論研究：中南米の場合 - 各論研究：中国の場合 - 各論研究：台湾の場合 - 多文化共生社会への道：日本の場合～はじめに - 各論研究：定住外国人問題と地方参政権運動 - 各論研究：外国人教員任用運動と国立大学教員に関する実態調査 - まとめ：多文化共生社会への展望			
[成績評価の方法] 各講義後に行う「まとめ」、「クイズ」、または学期末・学年末のレポートにより総合的に評価する。	[参考文献] 授業中に紹介する。			
[教科書] 徐龍達・遠山淳・橋内武共編著『多文化共生社会への展望』日本評論社、2000				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代思想		通 期	4 単位	岩 津 洋 二
〔講義概要・学習目標〕 私たちは人生の途上でさまざまな恐怖に遭遇する。地震を怖がり、お化けを怖がり、友達から嫌われるのが怖がる。すこしふりかえってみると、じつにさまざまな恐怖が私たちの生活につきまとい、恐怖ゆえに、私たちはしたいことを思い止まり、したくないことをあえておこなっている。しかし、私たちの行動の決定にかくも深くかかわっている恐怖がどのようなものであるかについて正しく認識している人は少ない。 この講義は、哲学のみならず、心理学・生理学・民族学・民俗学などの視点から、恐怖を解明し、その作業をととして、恐怖にとらわれている自分を見つめなおし、恐怖から自分を解放し、より自由になるための手がかりをさぐるという実践的な課題を追求する。恐怖とはなにかを明らかにすることによって、世界と自分自身を再発見する試みでもある。		〔講義計画〕 1. なぜ恐怖を問題とするのか 2. 恐怖の諸相－恐怖の分類 3. 近代社会における恐怖のとりえ方 4. 恐怖の心理＝生理学 5. 恐怖の過剰性 6. 対人恐怖症と日本文化 7. 恐怖としての和合 8. 日本の伝統的恐怖対象 9. 未開の恐怖と近代の恐怖 10. 恐怖の利用 11. 集合的恐怖 12. 恐怖の愛好 13. 恐怖への対処の仕方		
〔成績評価の方法〕 何回かのレポートと学年末の試験による。		〔参考文献〕 授業中に指示する。		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
産業技術論 (旧技術と生産過程)		後期集中	4 単位	並 川 宏 彦
〔講義概要・学習目標〕 技術は人々の生活に不可欠なものである。技術の発展は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。本講義では、技術の歴史、技術の発展の要因、技術の応用、技術の倫理などについて学び、技術の発展と社会の発展の関係を理解する。		〔講義計画〕 第1章 技術の歴史と発展の要因 第2章 技術の発展と社会の発展 第3章 技術の応用と倫理 第4章 技術の発展と環境 第5章 技術の発展と文化 第6章 技術の発展と経済 第7章 技術の発展と政治 第8章 技術の発展と国際関係 第9章 技術の発展と未来		
〔成績評価の方法〕 レポートの提出を課す。期末に試験をする。試験の点数とレポートの評価で成績をつける。		〔参考文献〕 最初の授業の日に、各章ごとの参考文献を示す。		
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スポーツ文化論 (旧身体文化論)		通 期	4 単位	松 浦 道 夫
〔講義概要・学習目標〕 まず、現代社会の特徴と体育・スポーツの発展、関係を概観します。そして背景の思想・精神・文化を知り、スポーツとの関連を考察します。とくに日米英の文化をスポーツを通して比較してみます。いいかえれば、スポーツ文化論を通して、集団としての人間、社会を理解することをねらっています。	〔講義計画〕 ＜前期＞ 1. 現代の体育・スポーツ 2. 近代イギリススポーツと社交の精神 3. イギリスのギャンブル精神とスポーツ ＜後期＞ 4. アメリカスポーツとメンバーチェンジの思想 5. 近代日本のスポーツと勝敗感 6. 国際化と日本的スポーツの変化			
〔成績評価の方法〕 適宜エッセイを課し、学年末テストと合わせて評価します。	〔参考文献〕 授業の進行に合わせて知らせます。			
〔教科書〕				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
コンピュータ利用II (旧電子計算機II)		通期	4 単位	藤間 真
[講義概要・学習目標] 本講義の目的は、基本的なコンピュータ・リテラシーを修得しているものに対し、さらに高度なコンピュータ利用技術を伝授することにある。コンピュータ技術は、現在凄まじい勢いで進化し、変化している。よって本講義では、単に現在何ができるかを伝授するだけではなく、新しい技術に対応するための素養の伝授、計算機を使って自分は何をするのかということへの考察をも行う。 履修登録に際しては、下記の点を理解した上で登録されたい： ・具体的な計画は右欄の通りであるが、コンピュータの世界の変化と実習の進展の状態に応じて変更することもありうる。 ・計算機センターの施設を用いた実習が主体となる。 ・初心者に対するコンピュータリテラシーの伝授を目的とはしていない。コンピュータの経験を持たないものにとってはハードな講義となる。 ・実習主体の講義であり、自習も必要となる。 ・基本的には連絡は電子メールで行う。	[講義計画] ・ホームページを作ってみる。 ・プレゼンテーション・ソフト ・情報検索の基礎 ・unixの基礎 ・オブジェクト指向とJava			
[成績評価の方法] 実習の提出物を中心に総合的に評価する。	[参考文献] 進行状況に応じて指示する。			
[教科書] 桑原恒夫著、3日で解る J a v a 例題学習方式（第2版） 共立出版 (後期のみ)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
聖書研究		通 期	4 単位	滝 澤 武 人
〔講義概要・学習目標〕 キリスト教の根本経典である『聖書』、特に「旧約聖書」をできるだけ多く読むことがこの講義の目標である。もちろん、大学という場においては、理性的・学問的な研究成果を土台とすることになるので、「信仰」の有無などは全く関係なく受講できる。教養としてぜひ『聖書』に親しんでもらいたい。 いわゆる『聖書』には「旧約聖書」（39巻）と「新約聖書」（27巻）合計66巻のさまざまな時代のさまざまな文書が含まれている。それらは古代ユダヤ民族が残した人類全体にとって重要な知的遺産・世界の古典中の古典であり、今日においてもなお文学・美術・歴史・思想・宗教などに新鮮な光を投げかけている。	〔講義計画〕 前期に「創世記」「出エジプト記」、後期に「雅歌」「ヨブ記」などを主として読み進める予定である。人数にもよるが、皆でテキストを読みあい感想を纏めてもらう。真面目な学生諸君のねばり強い努力に期待している。			
〔成績評価の方法〕 試験・レポート・出席・受講姿勢などを総合的に評価する。	〔参考文献〕 AERA Mook 『旧約聖書がわかる。』（朝日新聞社）			
〔教科書〕 新共同訳『聖書』（日本聖書協会） （旧約聖書を含んだものを準備し、 授業時には必ず毎時間持参すること。）				

